



RD-RN8132 [8TB] *RD-RN8133* [16TB]

RD-RN8134 [32TB] *RD-RN8135* [40TB]

4K解像度対応ネットワークレコーダー

32ch H.265+ 音声入力 1 音声出力 1 遠隔監視 RoHS

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

ARUCOM
防犯カメラ・
監視カメラ専門店 株式会社アルコム

よくあるご質問

モニターに映像が映らない…



電源が入っているか、
正しく接続されているか確認する。

➡ 11 ページ

録画した映像の再生方法は？



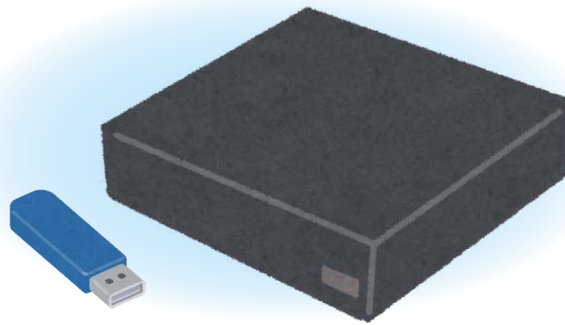
➡ 34~40 ページ

録画の設定方法は？



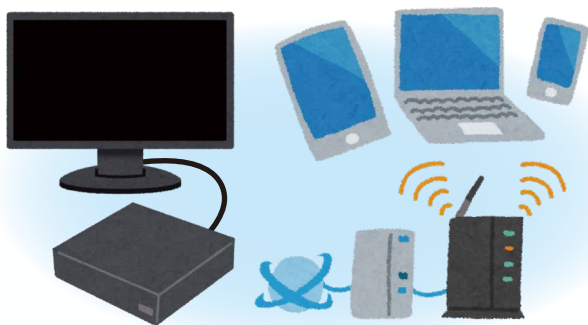
➡ 52~56 ページ

バックアップの方法は？



➡ 45~51 ページ

ネットワークに接続するには？
(PCやスマホから映像を見る)



➡ 57~61 ページ

ハードディスクのフォーマット方法？
(録画データをすべて消去する)



➡ 63 ページ

目次

はじめに

安全上のご注意	4
安全のため必ずお守りください	4
正しくご使用いただくために必ずお守りください	8
主な特徴	9
付属品	9
主要部品の交換時期	9
各部の名称とはたらき	10
防犯カメラ・監視モニターとの接続方法	11
電源のON・OFF	12
キーボード入力について	14
マウスでの操作方法	14
セットアップウィザード	15
ログインについて	19
ライブ映像の閲覧とアイコン	20
クイック設定ツールバーについて	20
ライブ画面アイコン表示について	20
デジタルズームの操作方法	21
PTZ・電動ズーム操作	22
簡易メニューのアイコンについて	23
メインメニューのアイコンについて	23

設定手順【カメラ追加など】

カメラ登録方法①（プラグアンドプレイ）	24
カメラ登録方法②HUB経由（手動登録）	26
カメラ名称の変更	30
カメラパスワードの確認方法	31
NVRでのIPアドレス設定	32

設定手順【レコーダー操作】

録画映像の再生方法（通常再生）	34
録画映像の再生方法（スライス再生）	38
人物・車両検知設定	41
録画映像のバックアップ①（エクスポート）	45
録画映像のバックアップ②（クリップ）	48
エクスポート(バックアップ)映像の再生	49
録画設定方法について	52
常時録画・スケジュール録画	52
モーション録画(動体検知)	53
録画設定（パラメータ）	55
ネットワーク設定（NVR側）	57
ネットワーク設定（PC側）	58
プラグインのインストール	60
仮想ホスト（バーチャルホスト）機能	61
スマートフォンからの接続	61

メンテナンス

NVRのパスワード設定	62
HDDの初期化	63
時計の設定方法	64
モデル・ファームウェアバージョンの確認方法	64
ライブ表示画面の変更方法	65
ライブ画面のプライバシーマスク設定方法	65
ログの確認方法	66
電源オフ	12

その他

仕様・外形寸法図	68
故障かな？と思ったら	69
アフターサービスについて	70
よくあるご質問（FAQ）	3

初期パスワード

パスワード Ac797083



不正使用を防ぐため、変更してください。
パスワードの変更はP.62ページを参照ください。

電源の入れ方と切り方

電源コンセントに電源アダプタをさし、
本体背面にある電源スイッチで電源を入れます。
詳細はP.12を参照ください。



電源スイッチ

よくあるご質問（FAQ）

下記のQRコードに、よくあるお問合せ等のQ&Aをまとめておりますので、あわせてご確認ください。

※アクセスに伴う通信料はお客様のご負担です。



安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



禁止



■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

安全上のご注意

警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜く

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



電源プラグを
コンセントから抜く

■ めらさない

●本体は防水構造になっていませんので、めらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での
使用禁止

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。



接触禁止

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜く

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



禁止

警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

■ 電源電圧100V以外の電圧で使わない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ 国外では使わない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

■ めれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに



■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



禁止

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本体の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



電源プラグを
コンセントから抜く

安全上のご注意

⚠ 注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

●本体はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。

本体にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

本体をラックに設置する場合は、本体と壁面間などに隙間を開けてください。

- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右は5cm以上を開ける
- ラック後面と壁面間は10cm以上開ける



禁止

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

●急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



禁止

■ 設置場所の注意

本体は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など



禁止

付属のACアダプターについて

⚠ 危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



分解禁止

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

⚠ 警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本体を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤ってACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

安全上のご注意

付属のACアダプターについて

警告

- 煙が出ている、変な音やにおいがするとき、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



- 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

- ACアダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本体のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起これば火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。



禁止



ぬれ手禁止



注意

- コード類は正しく接続する

ACアダプターのコードや接続ケーブルは、十分注意して配線してください。足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



- コードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。



禁止

- 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



禁止

- 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



禁止

警告

本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。



安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本体のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本体もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いにはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。放熱穴をふさいだりしないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

- 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない
ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。
- 録画中、再生中にコンセントを抜くときは必ず“停止”してから抜いてください。
- 電源を切ってから約30秒間は動かさない
電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。
- 衝撃や振動を与えない
本体を床などには置かないでください。
- 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること
本体ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてください。

主な特徴

- H.265+圧縮方式による長時間記録
- プラグアンドプレイによる簡単接続
- 残しておきたい映像ファイルをロックしておく
- USBメモリへのデータバックアップ
- 本体をネットワーク経由でパソコンやスマートフォンから遠隔監視可能
- HDMI、VGA映像出力
- マウス付属

主要部品の交換時期

本体を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本体の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

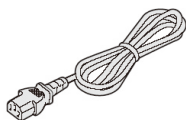
■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2年（周囲温度25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

- ①電源コード（本製品専用）
- ②マウス
- ③HDMIケーブル
- ④LANケーブル
- ⑤ラックマウント金具
- ⑥取扱説明書（本書）

①  電源ケーブル(本製品専用)	②  ※形状は異なります
③  ※形状は異なります	④  ※形状は異なります
⑤ 	⑥ 

各部の名称とはたらき

前面パネル

マウス・バックアップ

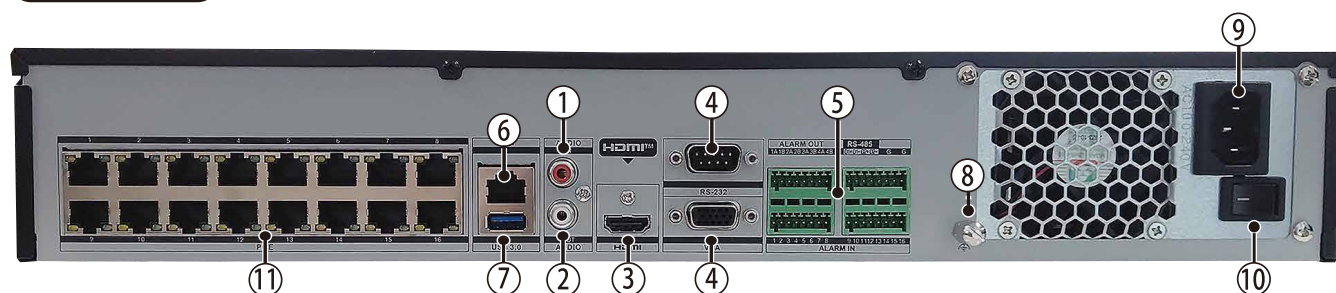


USBマウス・
USBメモリ等を
接続します。



① 電源	電源が入っている時は緑になります。	⑤ メニューボタン	メニューを開くときに押します。
② HDD	HDDにデータを書き込む間やデータを読み出す間、赤で点滅します。	⑥ 戻るボタン	ページを戻す、メニューを閉じる時に押します。
③ Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。	⑦ カーソルボタン	カーソルを上下左右動かす時に使用します。
④ USBインターフェイス	USBマウスやUSBメモリなどの追加デバイス用のUSBポート。	⑧ 決定ボタン	数値や項目などを決定する時に使用します。

背面パネル



① 音声入力端子 (RCA)	⑤ アラーム入力用コネクタ	⑧ アース接続 (起動時に接続要)
② 音声出力端子 (RCA)	⑤ アラーム出力用コネクタ	⑨ 電源
③ VGA (映像出力) / RS-232インターフェイス	⑥ LANネットワークインターフェイス	⑩ 電源スイッチ
④ HDMIインターフェイス (映像出力)	⑦ USBインターフェイス	⑪ PoE機能付ネットワークインターフェイス



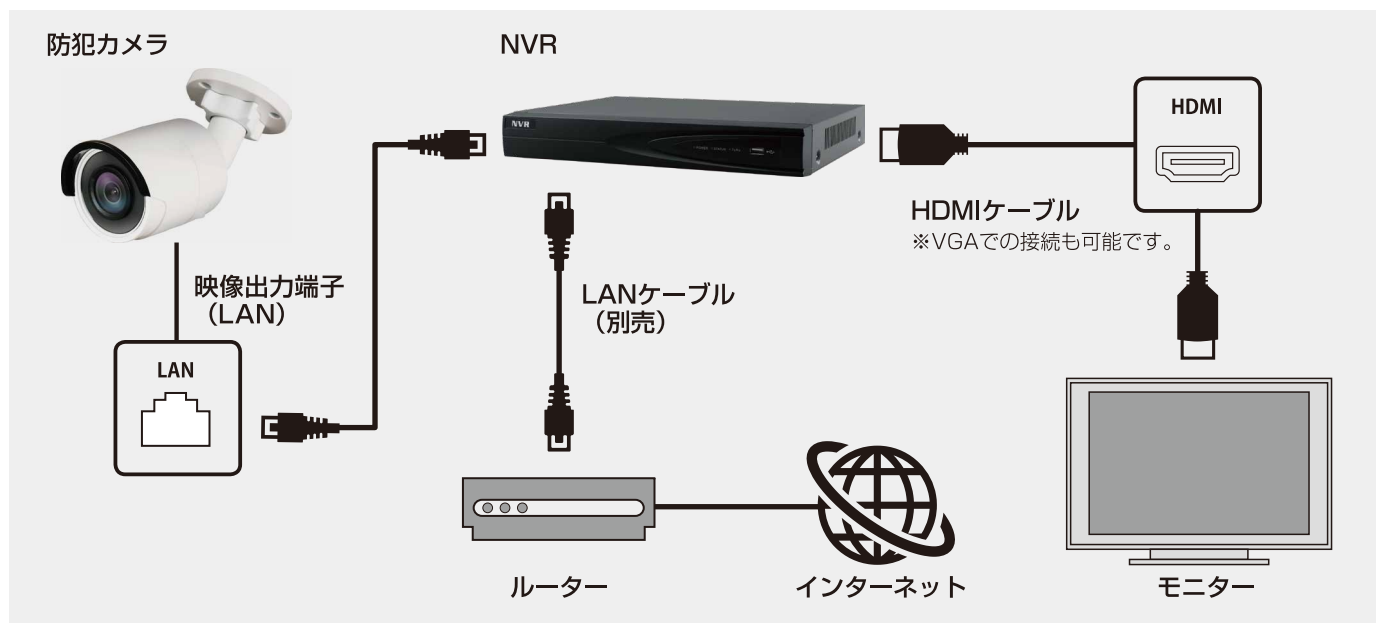
- すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
- 接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
- 電源ケーブルは抜けやすい構造となっております。本機を移動する場合は、電源ケーブル の抜けに注意してください。

防犯カメラ・監視モニターとの接続方法

下記の図を参考に防犯カメラ・監視モニターと本体を接続して使用します。

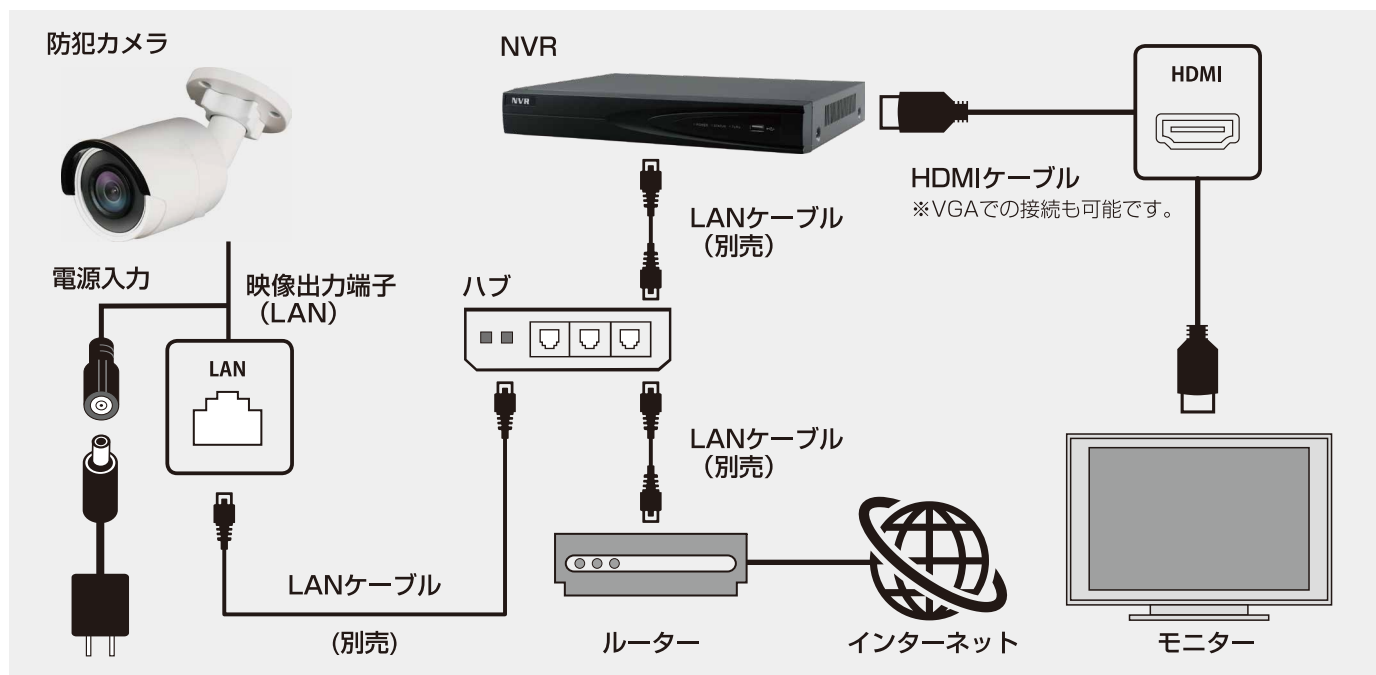
■カメラとNVRを直接LANケーブルで接続する場合

※レコーダーはPoE機能を搭載しておりますので、カメラとレコーダーを直接接続する場合は電源アダプタでの電源供給は必要ございません。



■カメラとNVRの間にHUBなどを経由する場合

※カメラに電源アダプタを使って電源供給が必要です。
※カメラ登録方法はP.24をご覧ください。



●カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

電源のON/OFF

■ 電源をONにする前に

本体にUSBマウスを接続します。USBポートは前面パネルと背面パネルにあります。
モニターを本体に接続します。モニターに適合したケーブル（VGA／HDMI／BNC）を背面パネルの各端子に接続します。モニターの電源ケーブル等をコンセントに接続し、モニター電源を入れてください。

■ 起動について

録画レコーダー本体の起動方法は、電源ケーブルとアダプタを接続した後、本体背面にあるスイッチをONすることにより起動します。



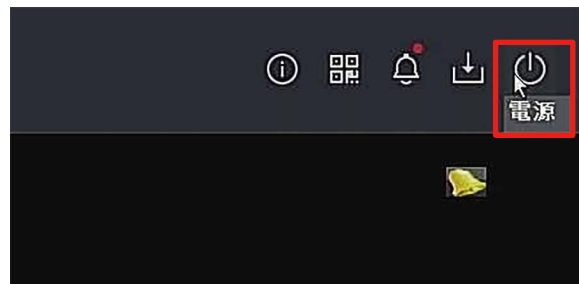
ACアダプタ・電源ケーブルは必ず同梱品をご使用ください。

電源のON/OFF

■ 電源をOFFにする時

(1) メニュー右端の「電源」アイコンを選択します。

※ライブ画面上でマウスを右クリックし、表示される「メニュー」をクリックすると、メニューが表示されます。



(2) 表示された画面の中央「電源オフ」を選択します。



(3) システムをシャットダウンしますか？の画面で、「OK」を選択します。



(4) 画面に「電源を切ってください」と表示されたら本体背面のスイッチをOFFにします。

■ 計画停電の前に

(1) 計画停電の前に前述の手順で電源スイッチをOFFにします。

(2) 電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。



電源オフの手順を踏まずに電源を消すと、
故障につながる可能性があります。

キーボード入力について

文字や数字を入力する際に表示されます。



	数字
	小文字/大文字
	キーボードの切替
	アルファベット
	バックスペース
	スペース
	エンターマーク / 退出
	予約済み

マウスでの操作方法

付属のマウスを録画機背面にあるUSBコネクタに接続して使用します。



【左クリック】 シングルクリック	ライブビュー：チャンネルを選択してクリック設定メニューを表示します。 メニュー：選択して開きます。
【左クリック】 ダブルクリック	ライブビュー：シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
【左クリック】 ドラッグ	プライバシーマスク・動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。
【右クリック】 シングルクリック	ライブビュー：メニューを表示します。 メニュー：前のメニューに戻ります。
【ホイール】 上にスクロール	ライブビュー：画面を切り替えます。
【ホイール】 下にスクロール	プライバシーマスクおよび動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。

セットアップウィザード

■ セットアップウィザード

ここではセットアップウィザードを使い、さまざまな初期設定を行います。
ウィザードがONの状態での起動する必要があります。

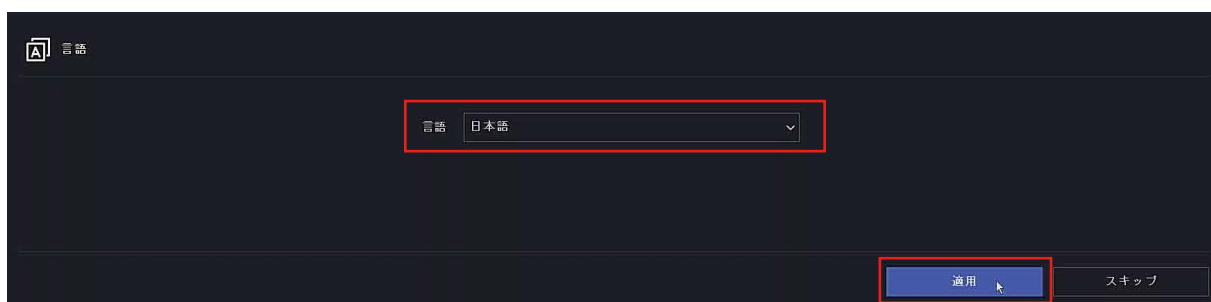
設定場所：「設定」⇒「全般」⇒「ウィザード」 ON/OFF ※初期値はOFFです。

(1) 言語設定

言語から「日本語」を選択し、「適用」ボタンを左クリックします。

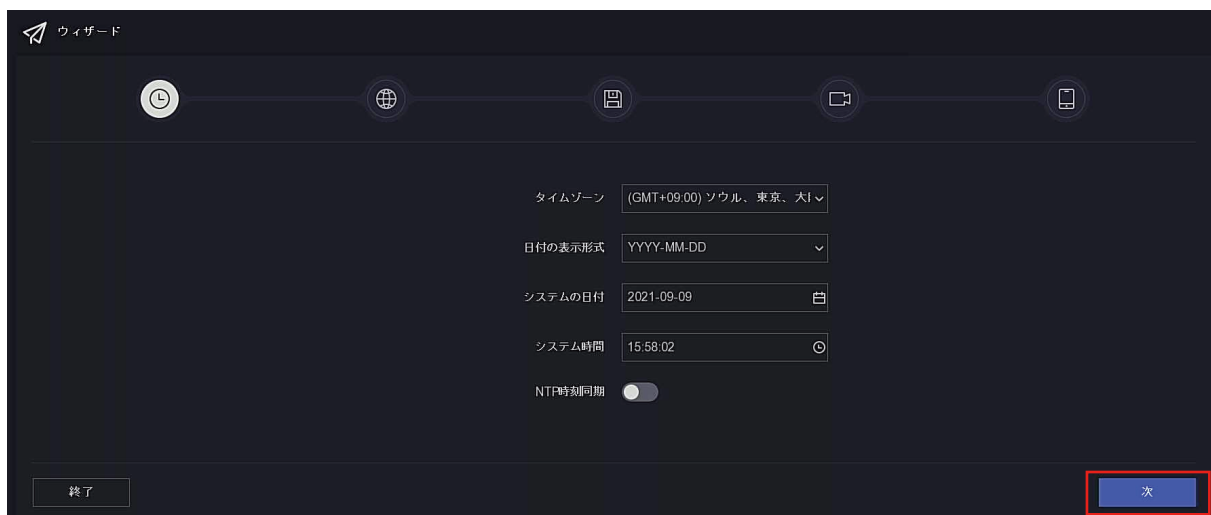
※適用ボタンが押せない場合、一度言語のプルダウンを開くと押せるようになります。

※クリック後、解除パターンが表示されたときはP.19を参考にしてください。



(2) 日時などの設定

タイムゾーン、日付の表示形式、システム（本体）の日付、システム時間、NTP時刻同期を設定し、「次」ボタンを左クリックします。



各項目の設定は下記を推奨しています。

タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル	システム日付	現在の日付
日付表示形式	YYYY-MM-DD	システム時間	現在の時間

セットアップウィザード

(3) ネットワーク設定

外部からの監視やPCを使用した監視を行わない場合は、「次」ボタンを左クリックします。本体にIPアドレスを設定する必要がある場合は、各項目を設定し「次」ボタンを左クリックします。

Network configuration screen showing DHCP (IPv4) settings. The DHCP toggle is turned on. Fields for IP address, subnet mask, default gateway, and DNS servers are visible. The 'Next' button is highlighted with a red box.

項目	値
DHCP (IPv4)	ON
IPアドレス	192.168.1.168
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	1.0.0.0
DNSの自動取得	ON
優先DNSサーバ	8.8.4.4
代替DNSサーバ	8.8.8.8

(4) HDD初期化設定

本体に内蔵されているハードディスクの初期化画面です。「次」ボタンを左クリックします。初期化を行うと録画された映像がすべて消去されます。復旧はできません。

HDD initialization screen showing a table of storage devices. The 'Next' button is highlighted with a red box.

ラベル	状態	タイプ	容量	フリースペース	グループ	操作
1	R/W	ローカル	3726.03GB	3017.00GB	--	削除

(5) IPカメラ追加設定

「次」ボタンを左クリックします。録画機の内蔵PoEポートを使用する場合、このリストには表示されません。

IP camera addition screen showing a table of added devices. The 'Next' button is highlighted with a red box.

カメラ No.	IPアドレス	カメラ名	状態	プロトコル	操作	セキュリティ	デバイス
D4	192.168.254.5	Camera 01	ON	HIKVISION	削除	N/A	

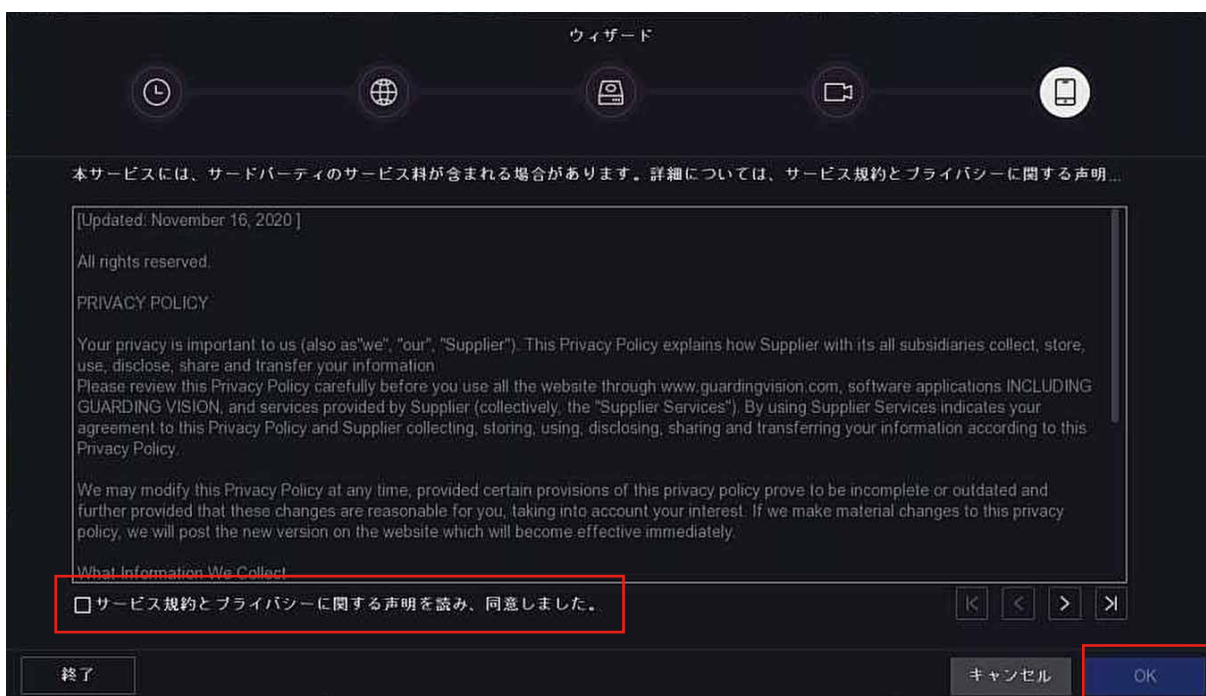
セットアップウィザード

(7) プラットフォームアクセスの設定

Guarding Visionを使用する場合はボタンをクリックしてオンの状態にしてください。
使用しない場合はそのまま「次」ボタンを左クリックします。



※Guarding Visionを使用する場合は表示される「サービス利用規約」の同意チェックボックスにチェックを入れてOKを押します。



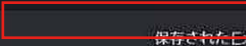
セットアップウィザード

(8) パスワード復旧方式の設定

パスワードを忘れた場合の復旧方式「電子メール」もしくは「秘密の質問」を設定してください。設定後「終了」を押しセットアップ完了します。

パスワード復旧方式

 In order to help you reset your password, we highly recommend you to enter the information below.

電子メール		保存されたEメール	
-------	---	-----------	----------------------

秘密の質問	質問 1	1お父様の名前は？	▼
	回答 1		
	質問 2	2お母様の名前は？	▼
	回答 2		
	質問 3	3高校の担当の先生の名前は？	▼
	回答 3		

 終了

ログインについて

本体の操作には、ログイン（パスワードの解除）が必要です。

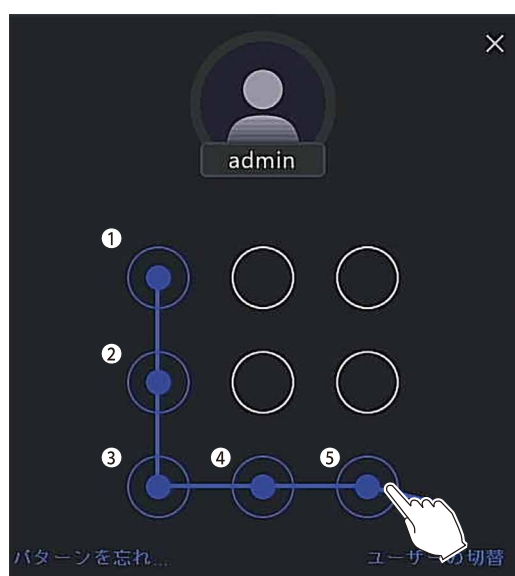
■ 解除パターンを入力する場合

（１）右クリックでメニューなどをクリックして、ログイン画面を表示します。

（２）左上の○部分で左クリックし、クリックしたまま

②→③→④→⑤と○を通るように線を引っ張ることで解除します。

※パターンが不明の場合右クリックをすることで、暗証番号での解除も可能です。



初期解除パターン：上記パターン

■ 暗証番号を入力する場合

（１）解除画面で右クリックをしてログイン画面を表示します。

（２）パスワード入力欄を左クリックし、表示されたキーボードでパスワードを入力します。文字を左クリックし、最後に【エンターマーク】を左クリックします。

初期パスワード：Ac797083



（３）【ログイン】を左クリックするとログインが完了し、操作が可能になります。

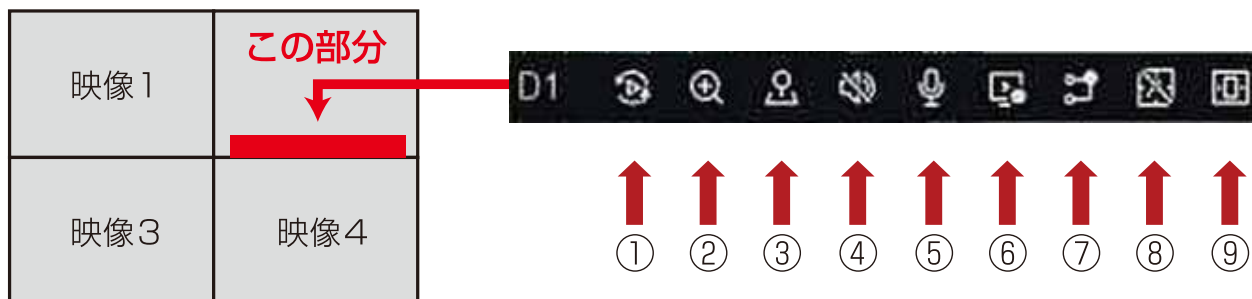


ライブ映像の閲覧とアイコン

ログインするとライブ画面が表示されます。運用開始前・運用中の各種設定の変更は、ライブ画面にカーソルを移動すると表示される「クイック設定ツールバー」や「メインメニューの設定モード」から行います。

■ クイック設定ツールバー

ライブ画面で表示されるカメラ映像の下にクイック設定ツールバーが表示されます。クイック設定ツールバーは、よく使う機能をライブ画面上で操作することができます。



クイック設定の動作は次の通りです。

① 簡易再生	5分以内の録画データ再生
② デジタルズーム	デジタルズームの操作
③ PTZコントロール	PTZの操作、ズームの調整など ※操作可能なカメラ接続時のみ表示されます。
④ 音声有効	マイク付きカメラの時のみ操作可能
⑤ 双方向音声	DVRへマイク/スピーカ接続、またマイク/スピーカー付きカメラの時のみ操作可能
⑥ ライブビュー方針	リアルタイム/バランス/なめらかさを切替
⑦ ストリーム切替	メイン/サブストリームを切替
⑧ VCA情報	表示の設定（有効化/無効化）を行ないます。
⑨ 自動調整解像度	ウィンドウサイズの自動調整

■ ライブ画面アイコン表示について

ライブビューモードでは、各チャンネルの画面右上にアイコンがあり、そのチャンネルの録画状態とアラームを示します。そのチャンネルが録画されているか、またはアラーム発生があるかを確認できます。

	アラーム (ビデオロス、ビデオ干渉、 動体検知、センサアラーム)		アラームおよび録画
	録画 (マニュアル録画、スケジュール録画、 動体検知、アラーム起動録画)		イベント/異常 (動体検知、センサアラーム、異常 情報が画面右上に表示されます)

ライブ映像の閲覧とアイコン

■ デジタルズームの操作

デジタルズームは、カメラの画面の一部領域を拡大して表示させる機能です。

クイック設定ツールバーからデジタルズームを選択すると、選択されたカメラが全画面に拡大され、左上隅にデジタルズーム操作画面が表示されます。

この時点でマウスのホイールを回すと拡大縮小が可能です。

デジタルズームを終了する場合は、カメラ画面上で右クリックします。

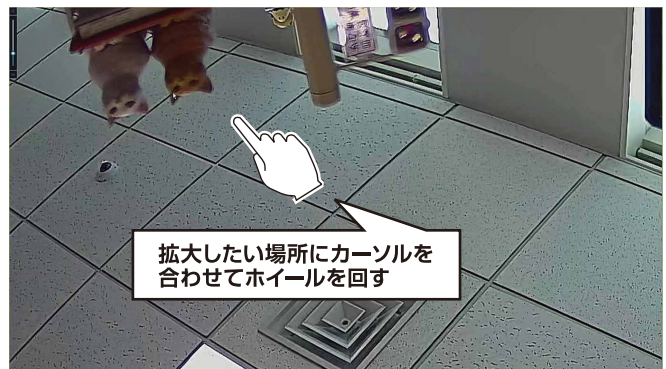


(1) クイック設定ツールバーからデジタルズームをクリックしてください。右画像のような画面へ変更されます。

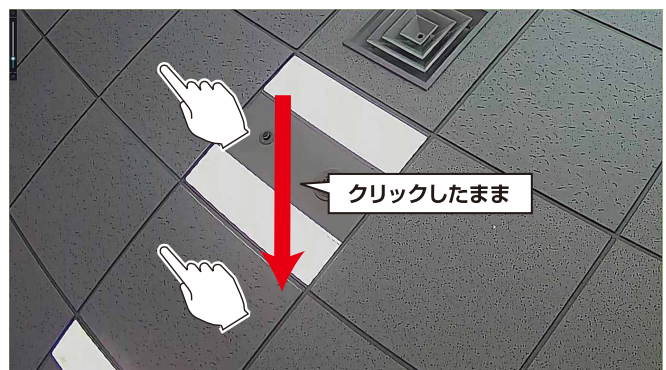


(2) デジタルズームをしたい場所にカーソル（操作する矢印）を移動し、マウスホイールを回すとズームします。

画面の左上に右図のような拡大・縮小のイメージが表示されます。



(3) ズームした後で画面の表示位置を移動する場合は、ドラッグ（左クリックで画面を押した状態）で操作すると移動します。

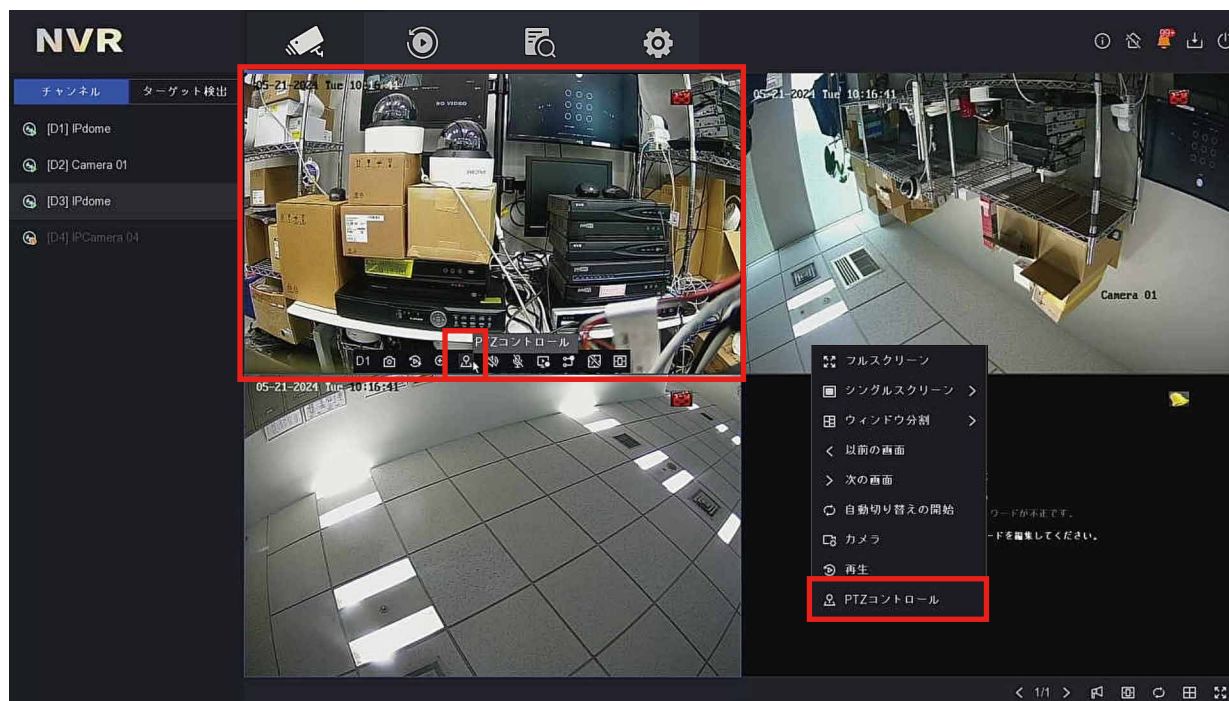


PTZ / 電動ズーム操作

■ カメラのPTZまたは電動ズーム操作方法

(1) 操作したいカメラをクリックし、画面下表示されるメニューより「PTZコントロール」アイコンを左クリック、もしくはライブビュー画面でマウスを右クリックし表示されるメニューより「PTZコントロール」を選択すると、PTZコントローラを表示します。

※PTZまたは電動ズーム対応カメラ以外では、表示されません。



(2) 「ズーム」「フォーカス」「方向」ボタンで画角およびピント調整を行います。



PTZパラメータ設定
(※通常は使用しません)



方向ボタン
※レンズ向きを調整します



ズーム (拡大・縮小)



フォーカス調整

※ズーム操作時に自動でフォーカス調整を行います。
(オートフォーカス設定時)



メニュー表示について

■ 簡易メニュー

フルスクリーンで右クリックをすると簡易メニューが開きます。



アイコン	説明
①フルスクリーン	メニューなどを非表示にして全画面表示
②シングルスクリーン	カメラを選択してその画面だけを表示
③ウィンドウ分割	分割画面の選択と表示
④以前の画面	表示画面を1つ前のカメラへ移動
⑤次の画面	表示画面を1つ次のカメラへ移動
⑥自動切り替えの開始	表示画面の自動切り替え設定
⑦カメラ	カメラの設定画面を表示
⑧再生	映像の再生
⑨PTZコントロール	カメラが対応している場合、PTZ操作

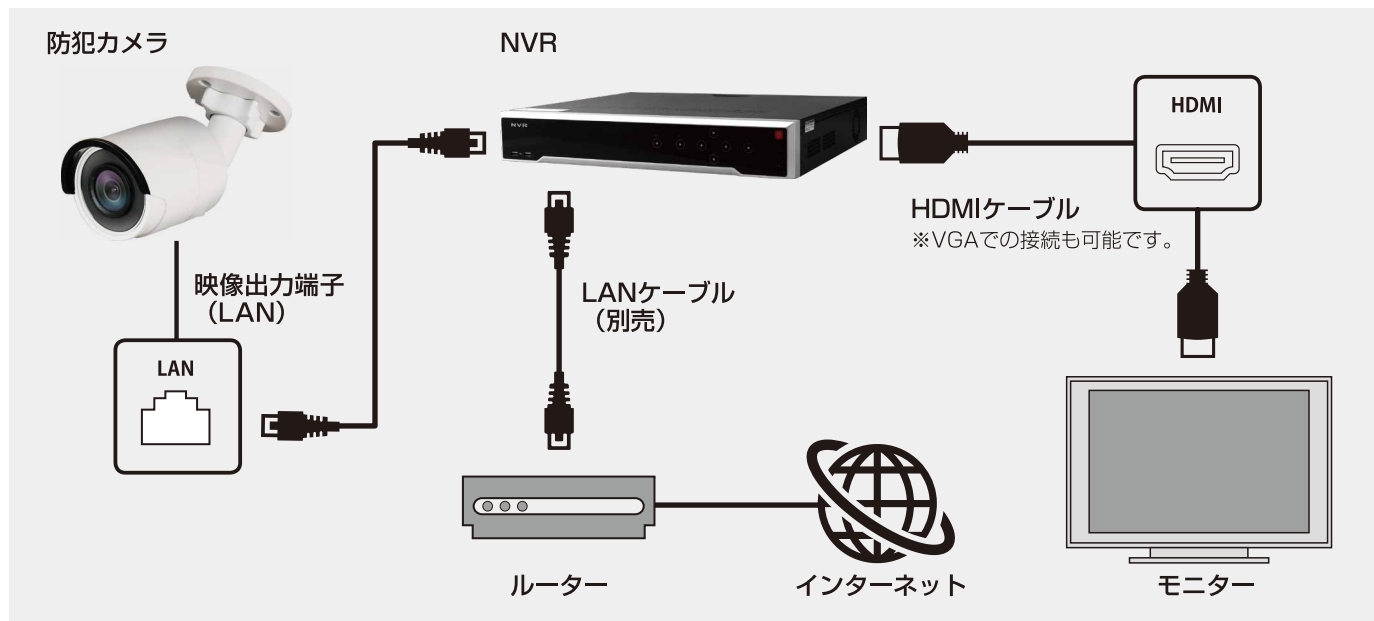
■ メインメニュー



アイコン	説明	アイコン	説明
ライブビュー	カメラのライブ映像表示	メンテナンス	レコーダー本体の型番やファーム番号を表示
再生	録画映像の再生画面を表示	Guarding Vision	アプリと連動させる時のQRコードを表示
検索	録画検索とバックアップ（エクスポート）が可能	アラーム情報	各種ログの表示など
設定	各種レコーダー本体やカメラの設定画面を表示	ダウンロード	ファームウェアのダウンロードなどを記載
		電源	レコーダー本体の電源オフや再起動を実行

カメラ登録方法① プラグアンドプレイの場合

■ カメラとレコーダーを、LANケーブルで直接接続する場合



(1) 機器の接続

上記の図を参考に、カメラ・レコーダーを接続してください。
※すべての機器に電源がはいっていることを確認してください。

(2) 接続状態の確認

NVR									
システム	IPチャンネル PoEの設定 PoEバインディング設定								
ネットワーク	追加されたデバイスリスト								
カメラ	+ カスタム追加 削除 パスワードを表示 IPの編集 リモート設定 ... 詳細								
カメラ	カメラ名またはIPアドレス								
表示									
プライバシーマスク									
デバイス管理									
	☐	カメラ No. :	IPアドレス :	カメラ名	状態	プロトコル	操作	セキュリティ	
	☐	D1	192.168.254.2	IPDome	●	HIKVISION	🔍 🗑️ ⬆️ ⬆️ ⬆️	N/A	
	☐	D2	192.168.254.3	Camera 01	●	HIKVISION	🔍 🗑️ ⬆️ ⬆️ ⬆️	N/A	
	☐	D3	192.168.254.4	IPCamera 03	●	HIKVISION	🔍 🗑️ ⬆️ ⬆️ ⬆️	N/A	
	☐	D4	192.168.254.5	IPCamera 04	●	HIKVISION	🔍 🗑️ ⬆️ ⬆️ ⬆️	N/A	
	☐	D5	192.168.254.6	IPCamera 05	●	HIKVISION	🔍 🗑️ ⬆️ ⬆️ ⬆️	N/A	

※プラグアンドプレイ接続の場合、基本的に自動で映像が表示されますが
映像が出力されない場合は、後述のページをご確認ください。

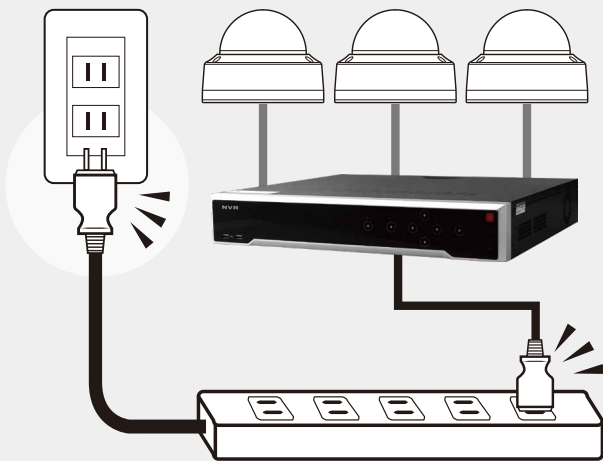
<既存のカメラ接続時（プラグアンドプレイ）の注意点>

自動で映像表示されない場合は「カメラへ設定しているパスワード」をお試ください。
上手く認識（登録）が出来ない場合は、アクティベーション時のパスワードが合っていない可能性があります。その場合はパスワードの再設定、もしくはリセットしていただくことをお勧めします。
(※パスワード再設定の際は、P62記載の条件を満たすパスワードを設定してください。)

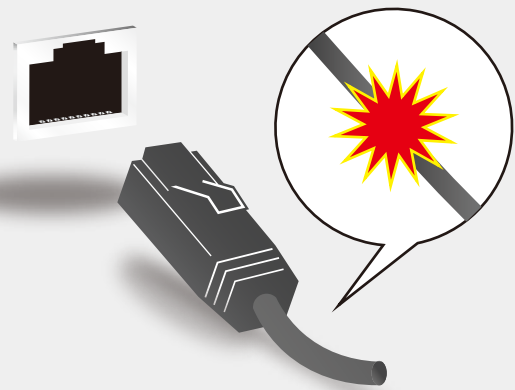
カメラ登録方法① プラグアンドプレイの場合

■ カメラの映像がでないときの考えられる要因

(A) 電源がはいっていない



(B) LANケーブルが正常ではない
(接触不良・断線など)



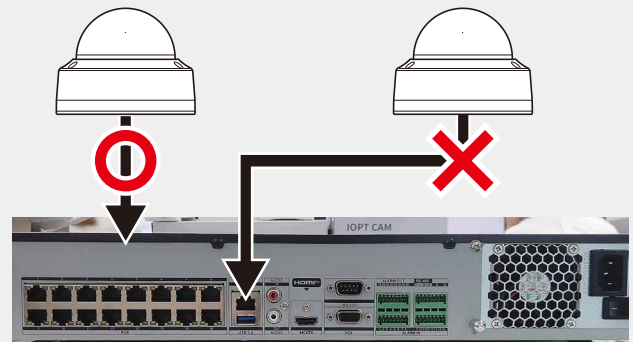
(C) NVR設定が「手動」になっている



① NVRの メインメニュー > 設定 > カメラの順番で左クリックし、カメラ一覧を表示します。

② 設定を確認したいカメラの「編集」を押すと設定画面が表示されるので、追加方法の項目が「手動」になっている場合、「プラグアンドプレイ」へ変更してください。

(D) 違うポートに機器がつながっている



プラグアンドプレイの場合は、LANポートではなく「チャンネルポート」にカメラを接続してください。

(E) カメラを再設定・リセットしてみる。

①DHCP設定にしてみる。

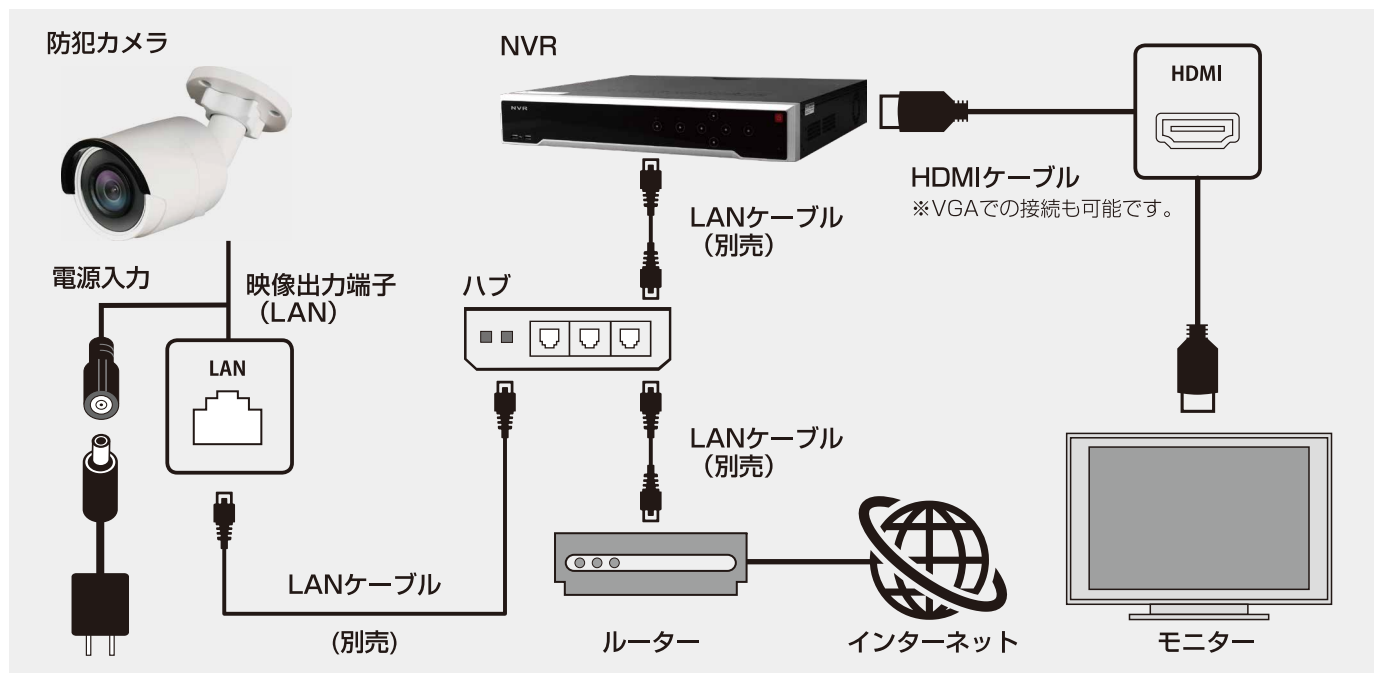
②PWを再設定してみる。

(※使用可能なPWはP62を参照)

③カメラ本体のLANケーブル接続と同時に、リセットボタンを長押し（5秒以上）する。
(再アクティベート)

カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

■ カメラとレコーダーを直接ではなく、HUBを経由して接続する場合



- ※ 接続イメージは参考例なので、環境に合わせる必要があります。
- ※ 参考例は、設置環境にルータがある場合を想定しています。
- ※ PoEハブを使用しない場合は、別途、カメラ用電源アダプタが必要です。

■ 登録までの手順

- ①機器の接続
- ②SADPツールの準備
- ③カメラのIPアドレスの設定
- ④レコーダーのIPアドレスの設定
- ⑤レコーダーにカメラの登録

(1) 機器の接続

上記の図を参考に、カメラ・レコーダー・PoEHubなどを接続してください。

※すべての機器に電源がはいっていることを確認してください。

(2) SADPツールの準備

下記URLからダウンロードし、ご使用のPCにインストールしてください。

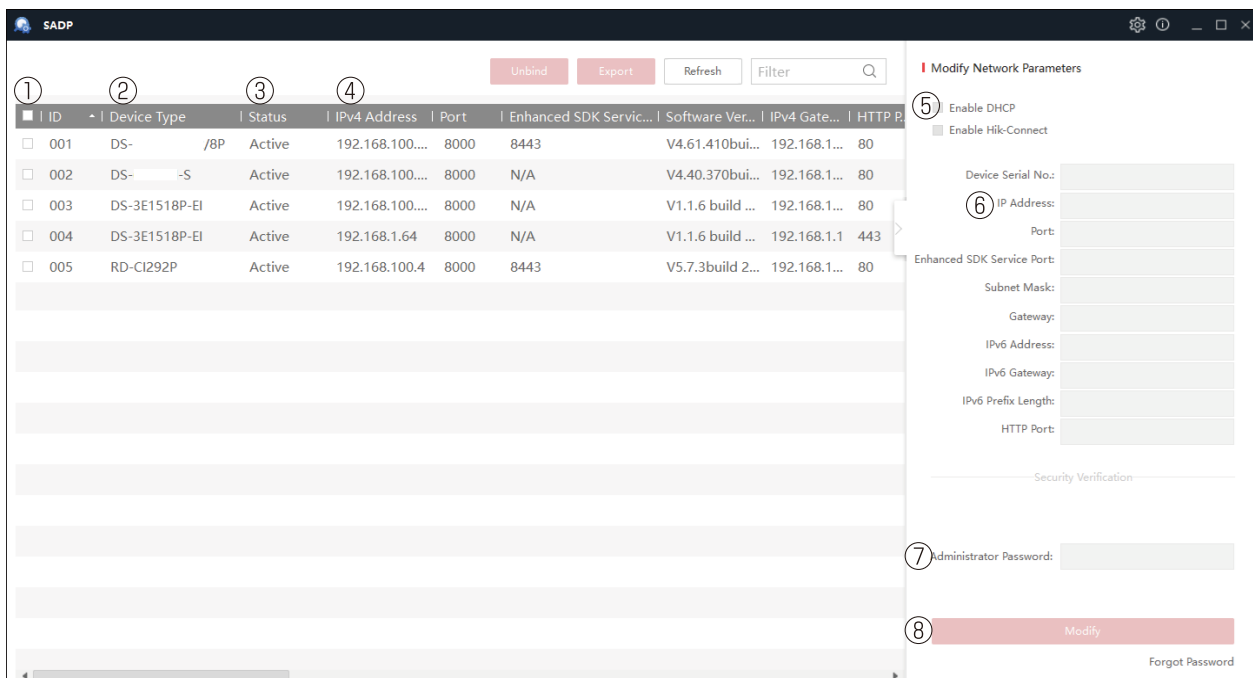
https://www.arucom.ne.jp/all_support/model.html



カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

(3) カメラのIPアドレスの設定

SADPツールをインストール後、起動してください。カメラの設定を行います。



① 選択用チェックボックス

② 検出したカメラの型番

③ 検出したカメラの状態 (Activeだと稼働中)

④ 検出したカメラのIPアドレス

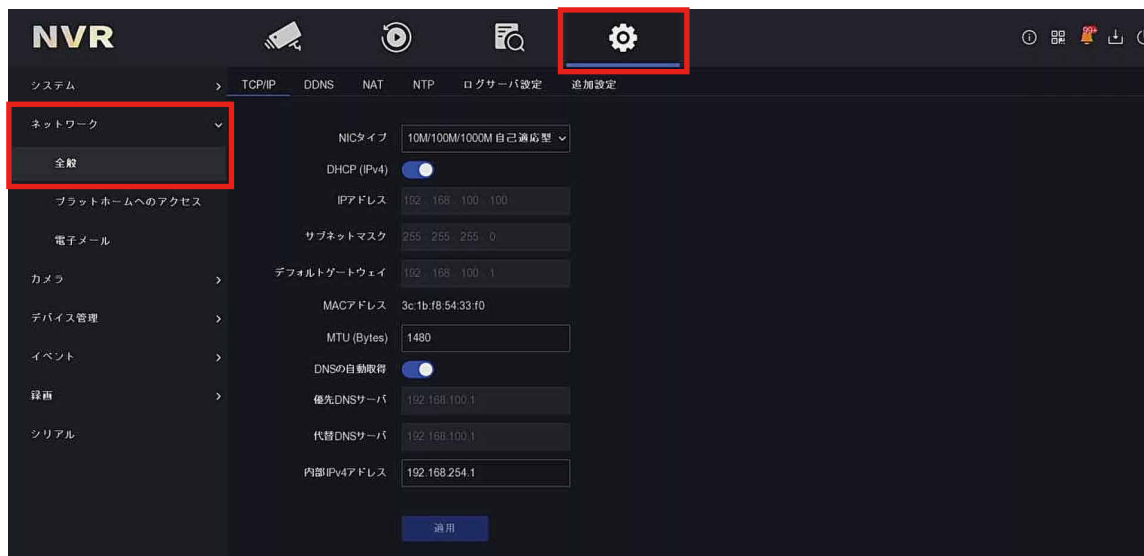
⑤ DHCP有効のチェックボックス

⑥ IPアドレス等変更箇所

⑦ パスワード入力欄

⑧ 編集ボタン

(4) レコーダーのIPアドレスの設定



メインメニュー > 設定 > ネットワーク にて、LANポートに固定IPアドレスを割り当てる場合は設定を行い、DHCPで使用する場合は自動で割り当てられるIPアドレスを確認します。

(例ではNVRのIPアドレスは「192.168.100.100」に設定しています)

カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

(5) レコーダーにカメラの登録



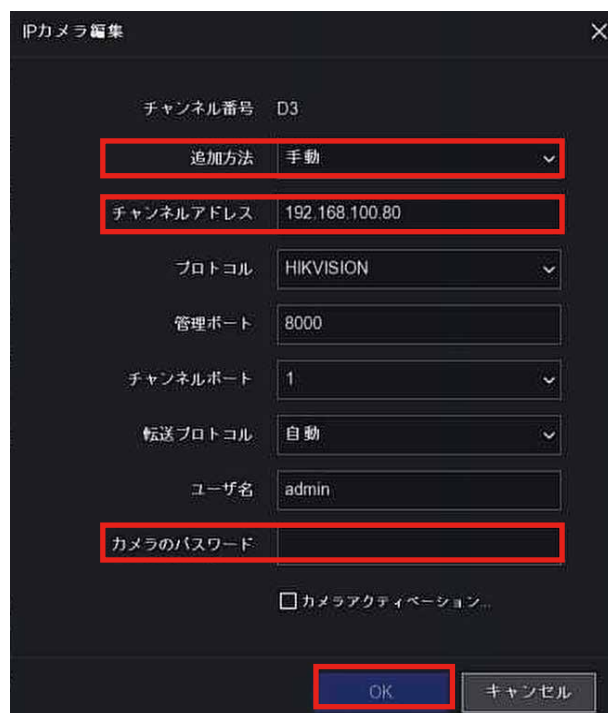
カメラとNVRを同じネットワークに接続し、NVRの メインメニュー > 設定 > カメラ の順番で左クリックすると下記のように表示されます。

追加方法を「プラグアンドプレイ」から「手動」に変更します。

各項目が変更できるようになるので、IPアドレス欄に、カメラに設定されているIPアドレスを、パスワード欄にはカメラに設定したパスワードを入力します。

最後に右下の「OK」を左クリックします。

(例：ch3へ192.168.100.80のカメラを手動で追加します。)



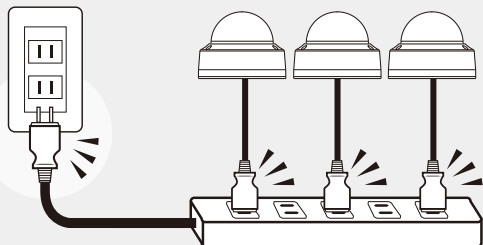
接続したch3カメラの、状態が緑のチェックになった事を確認できれば登録完了です。



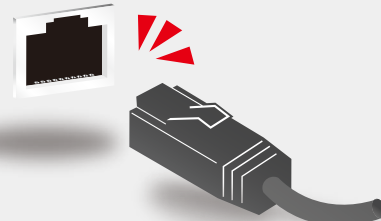
カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

■ カメラの映像がでないときの考えられる要因

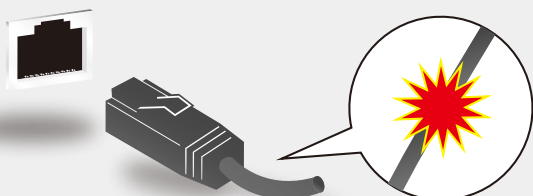
(A) カメラの電源がはいっていない



(B) LANケーブルが抜けている



(C) LANケーブルが正常ではない
(接触不良・断線など)



(D) カメラはDHCP設定なのに、
ルーターがない



(E) カメラのアドレスと、NVR側のカメラ
登録IPが違う



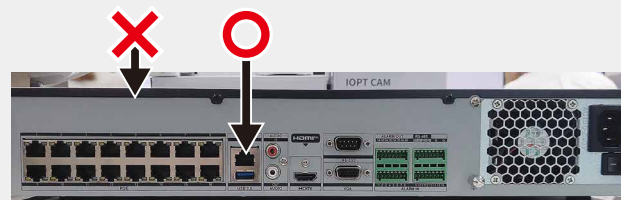
(F) カメラのパスワードと、NVR側のカメラ
パスワードが違う



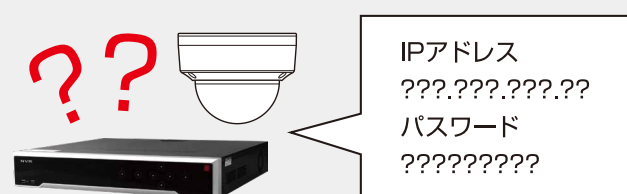
(G) 同一セグメントになっていない



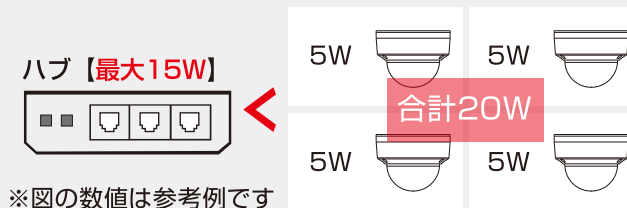
(H) NVRのCHポートにハブからの
LANケーブルを挿している



(I) カメラリセットした場合、
再設定(初期設定)が行われていない



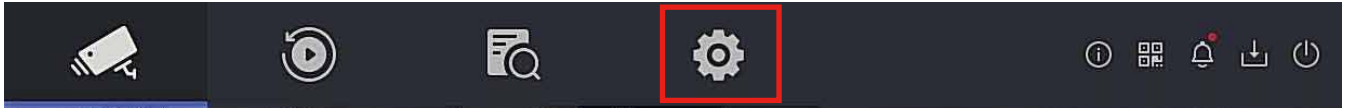
(J) POEハブの電源キャパ不足(対応電力
量よりも多くカメラを接続している)



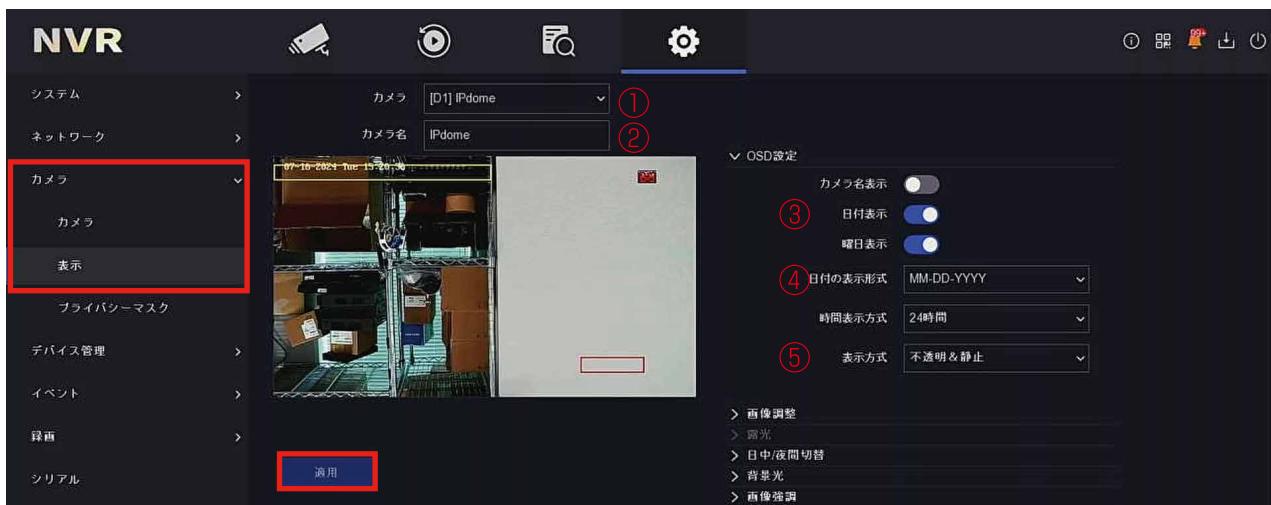
カメラ名称の変更

■ カメラの名称または表示内容の変更方法

(1) メインメニューより「設定」のアイコンを左クリックします。



(2) 画面左側の「カメラ」→「表示」をクリックします。



- ① 設定したいカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します。(英数字のみ、32文字まで)
- ③ カメラ名、日付、曜日の表示のON/OFFを選択できます。
- ④ 日付と時間の表示方式を選択できます。
- ⑤ 文字の透明・不透明、点滅・点灯を選択できます。

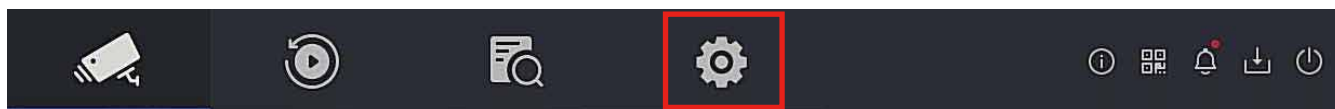
これは画面上の文字を表示する際、見やすくするために色を自動的に変える機能です。

(3) 「適用」を左クリックすると設定の変更が完了です。

カメラパスワードの確認方法

■ カメラのパスワード確認方法

(1) メインメニューより「設定」のアイコンを左クリックします。



(2) 上部の「パスワードを表示」をクリックすると、権限確認画面が表示されて管理者パスワードの入力を求められます。



(3) パスワードを入力すると「セキュリティ」の項目だったところが「カメラのパスワード」に変わり、設定されているパスワードを表示・確認する事ができます。

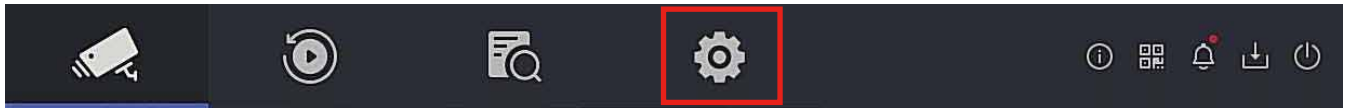
(プラグアンドプレイで接続しているカメラは、基本的にNVRと同じパスワードが設定されています)



NVRでのIPアドレス設定

■ NVRからのIPアドレス設定

(1) メインメニューより「設定」のアイコンを左クリックします。



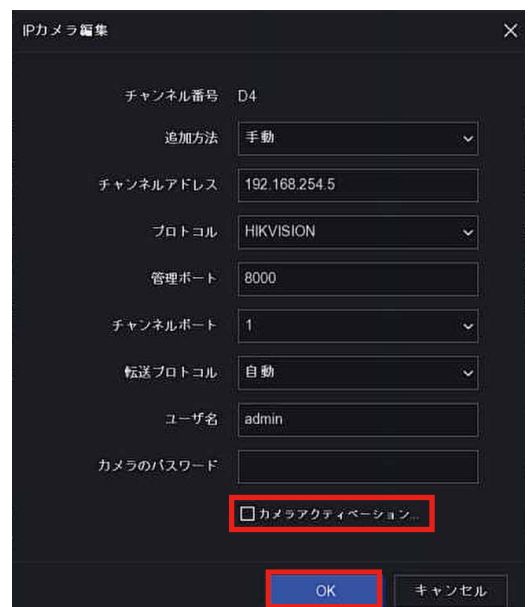
(2) 初期出荷状態のカメラを外部のPoEスイッチ経由でNVRに接続した場合、NVRのメインメニュー > 設定 を開くとカメラの一覧が表示されます。

状態が赤いアイコンのカメラは何か情報が足りていないことを示しています。

(3) 編集したいカメラの操作の「鉛筆マーク」を押すと、編集画面が表示されます。

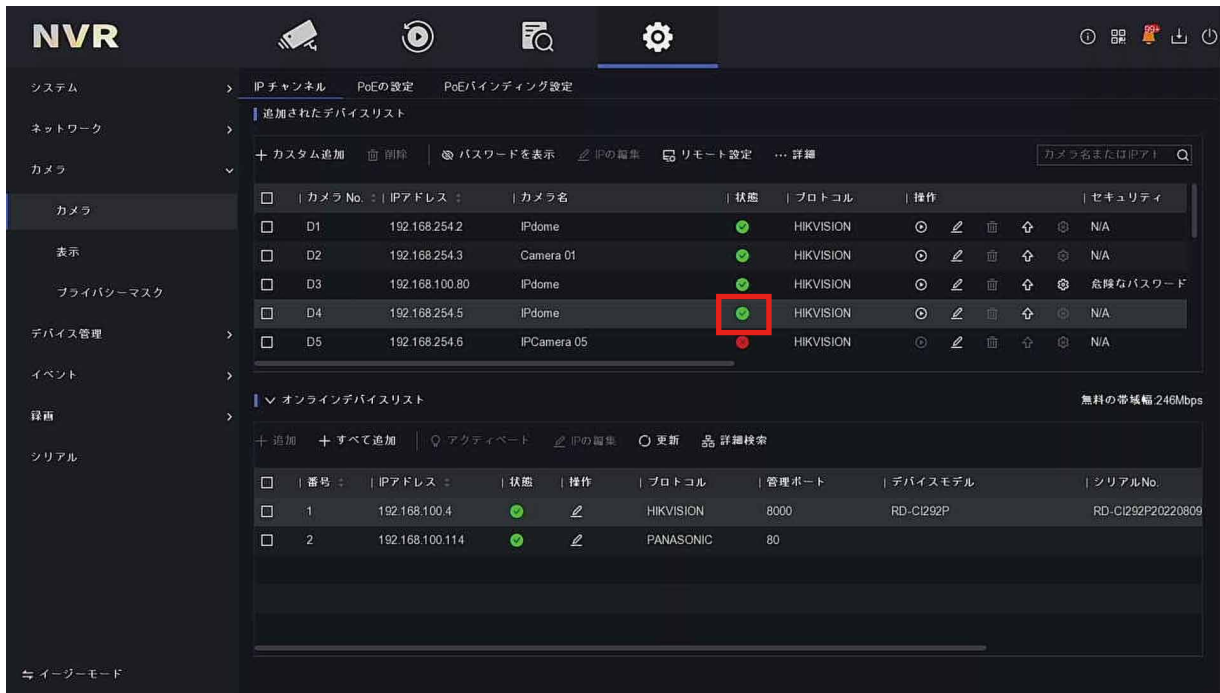


NVRと同じパスワードを設定する場合は、「カメラアクティベーションパスワードを使用」にチェックを入れて「OK」をクリックします。



NVRでのIPアドレス設定

(4) カメラにパスワードが設定されて表示が「アクティブ」に変わった事を確認します。



手動でカメラを追加する場合、IPアドレス番号を変更して追加登録する場合は、追加方法を「手動」に変更しカメラ登録をおこなってください。



録画映像の再生方法（通常再生）

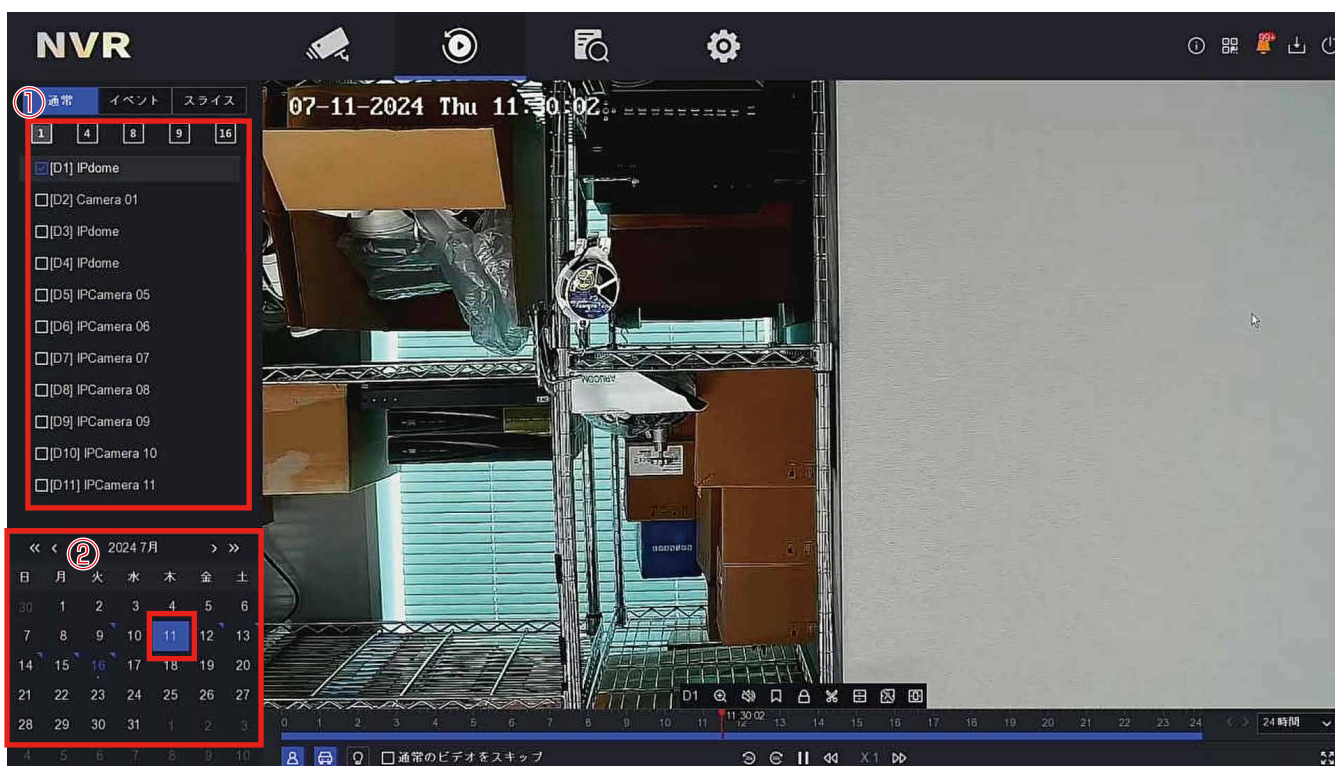
■ 録画した映像の再生

録画映像を再生する場合は、次の操作を行います。

（１）メインメニューから「再生」アイコンを左クリックします。



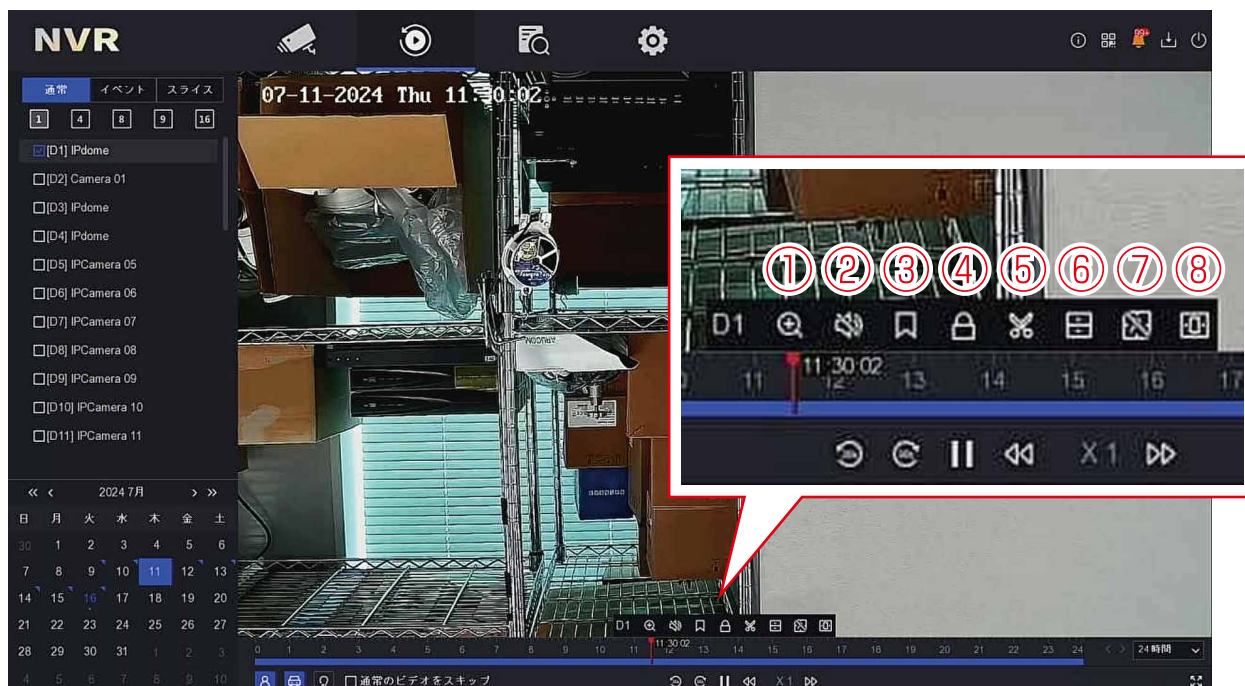
（２）再生画面が表示されます。



項目	
① 再生カメラの選択	リストから、再生するカメラにチェックを入れます。 複数選択した場合は分割表示されます。 ※機種により同時再生可能な台数は変わります。
② 録画映像の日付検索	カレンダーを使って記録映像の検索ができます。 録画データがある場合は、日付の右上に青いチェックが付きます。

録画映像の再生方法（通常再生）

（3）再生画面の下部にある再生パネルについて

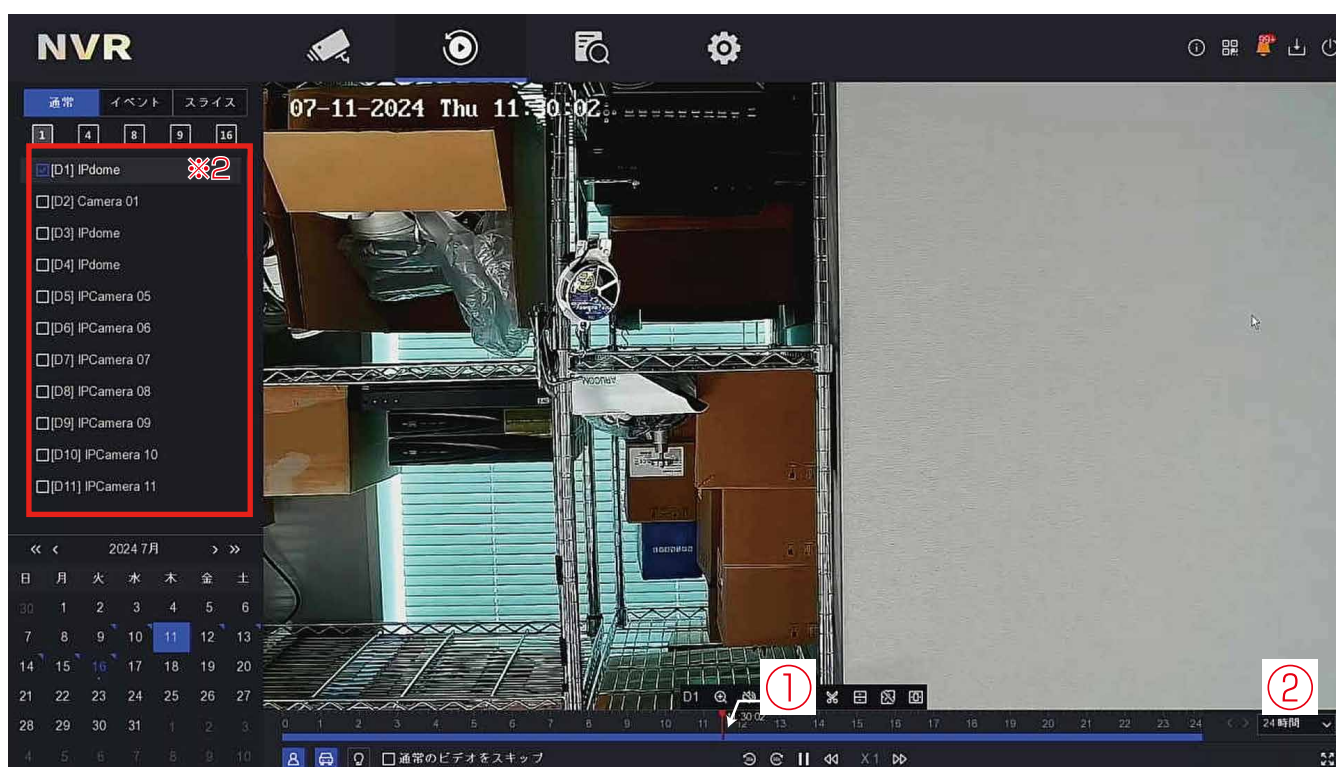


① デジタルズーム	再生映像でデジタルズームを行う際に使用します。
② 音声有効/ミュート	録音しているカメラがある場合の音声ON・OFFと調整を行います。
③ タグ追加	タグを追加します。
④ ロック※1	再生している内部ファイルをロックします。
⑤ クリップ	再生映像画面のキャプチャを時間を指定して撮ります。
⑥ マルチウィンドウ分割	再生している内部ファイルをロックします。
⑦ VCA情報	表示の設定（有効化/無効化）を行ないます。
⑧ 自動調整解像度	ウィンドウサイズの自動調整

（※1）ロック機能

ロックしたい時間に再生ヘッドを合わせ、ロックアイコンを押すと指定した時間から1GB分（連続録画時）ファイルを保存します。ロックした内部ファイルは上書きされません。
 ロックしたファイルをUSBへバックアップしたい場合は、P45（録画映像をバックアップ①（エクスポート））をご参照ください。項目（4）画面で、ロックしたファイルの検索、映像確認およびUSBバックアップを行うことができます。

録画映像の再生方法（通常再生）



① 再生位置	現在再生している位置です。
② タイムバー範囲※ ¹	タイムバーの端から端までの範囲を設定します。※ ¹
③ 人物※ ²	人物が映った部分を表示します。
④ 車両※ ²	車などが映った部分を表示します。
⑤ 30秒巻き戻し	30秒戻ります。
⑥ 30秒早送り	30秒進みます。
⑦ 再生／一時停止	録画映像の再生をします。再生中に一時停止をします。
⑧ 遅く	再生速度を遅くします。
⑨ 再生速度	現在の再生速度の倍率を表示します。
⑩ 速く	再生速度を早くします。
⑪ フルスクリーン	フルスクリーンで再生します。

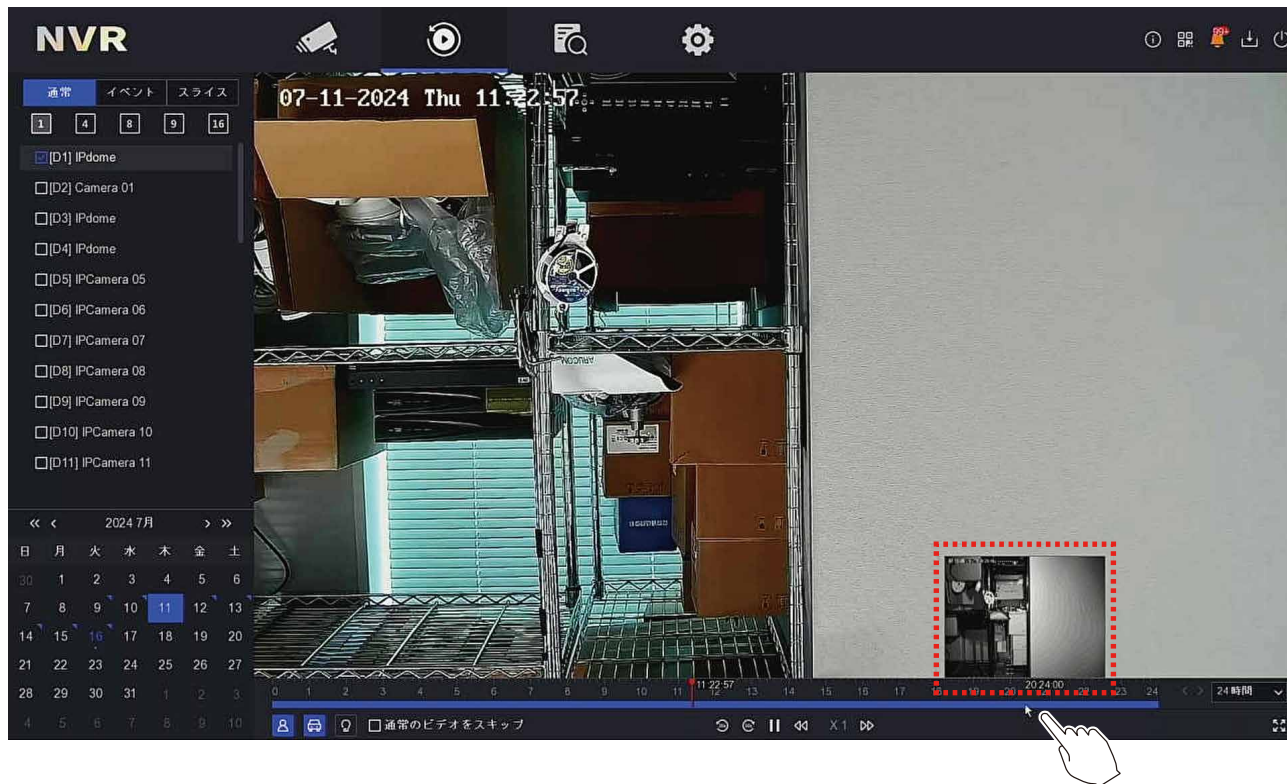
(※1) タイムバー範囲は30分、1時間、2時間、6時間、24時間の5段階から選べます。

(※2) 再生するカメラは1台のみ指定した場合のみ、使用できる機能です。

2台以上を同時に再生する場合には人物・車両の検知機能は使用できません。

録画映像の再生方法（通常再生）

（４）一画面再生中に、タイムバー（下部の青い部分）にカーソルを移動すると、再生画面下部のカーソル位置にその時間帯のサムネイルが表示されます。サムネイルをクリックするとその時間にジャンプします。



録画映像の再生方法（スライス再生）

■ スライス再生

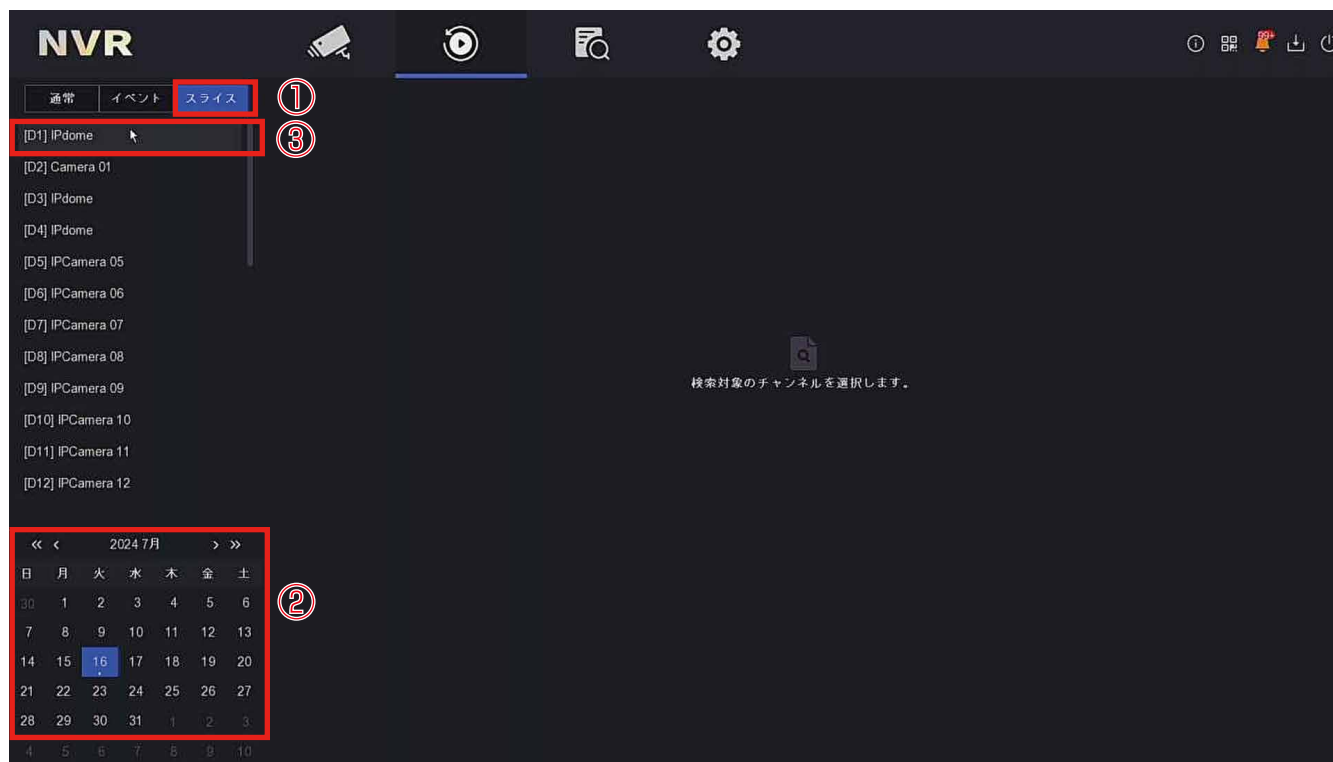
1時間毎、もしくは1分毎の画像リストから映像再生ができます。

（1）メインメニューから「再生」アイコンを左クリックします。



（2）再生画面が表示されます。

- ①「スライス」を選択します。
- ②カレンダーより見たい日付を選択します。
- ③映像再生したいchをダブルクリックすると、画像リストが表示されます。



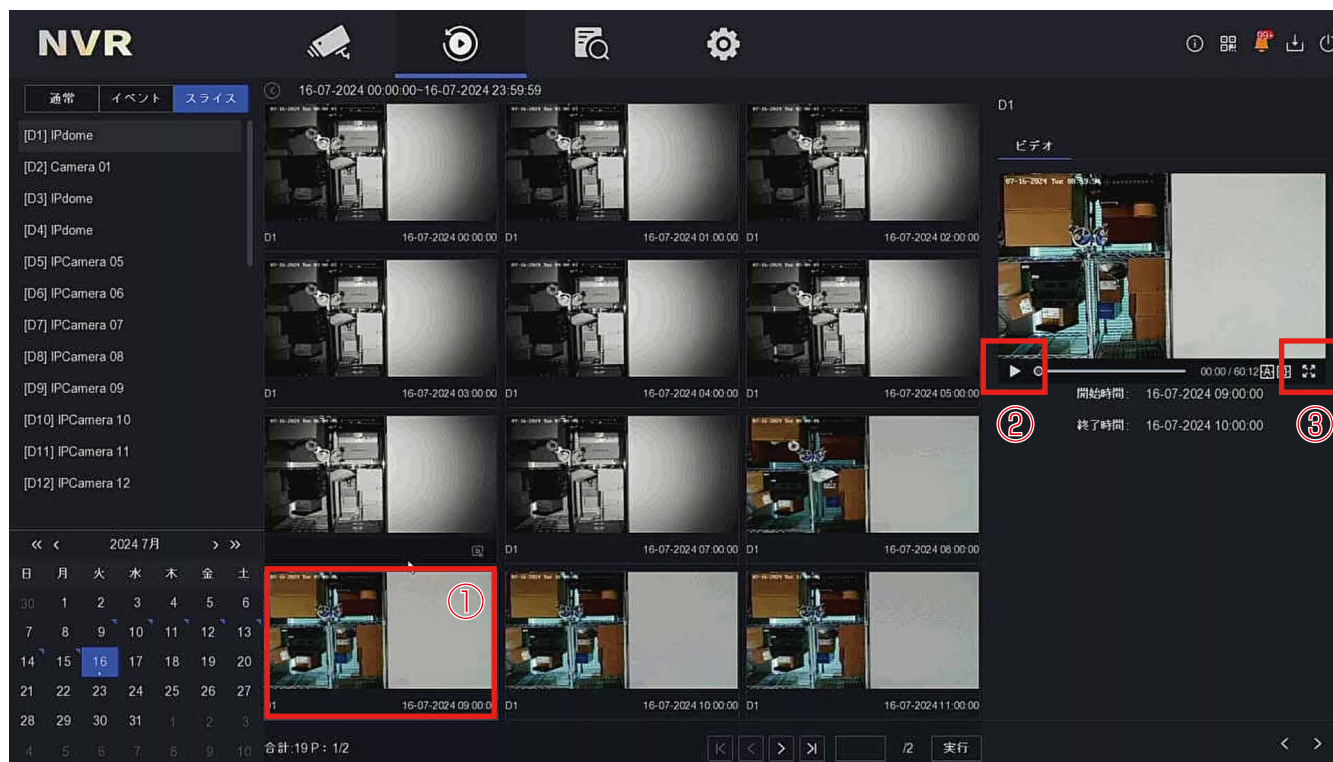
録画映像の再生方法（スライス再生）

(3) 画像リスト（検索結果）が表示されます。

① 見たい時間帯の画像リストを選択します。（1時間単位で表示）

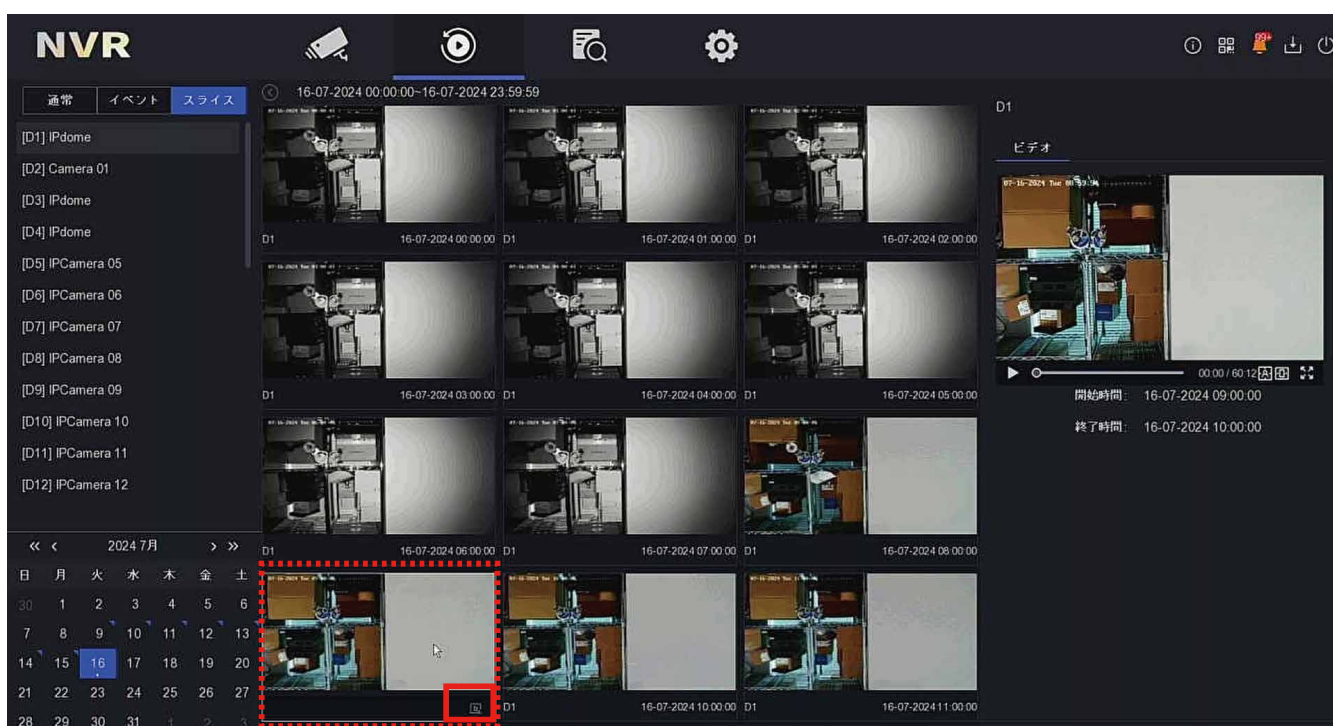
② 再生ボタンで映像確認を行うことができます。

③ フルスクリーン表示切替ができます。



(4) 1分単位の画像リスト表示への切替方法

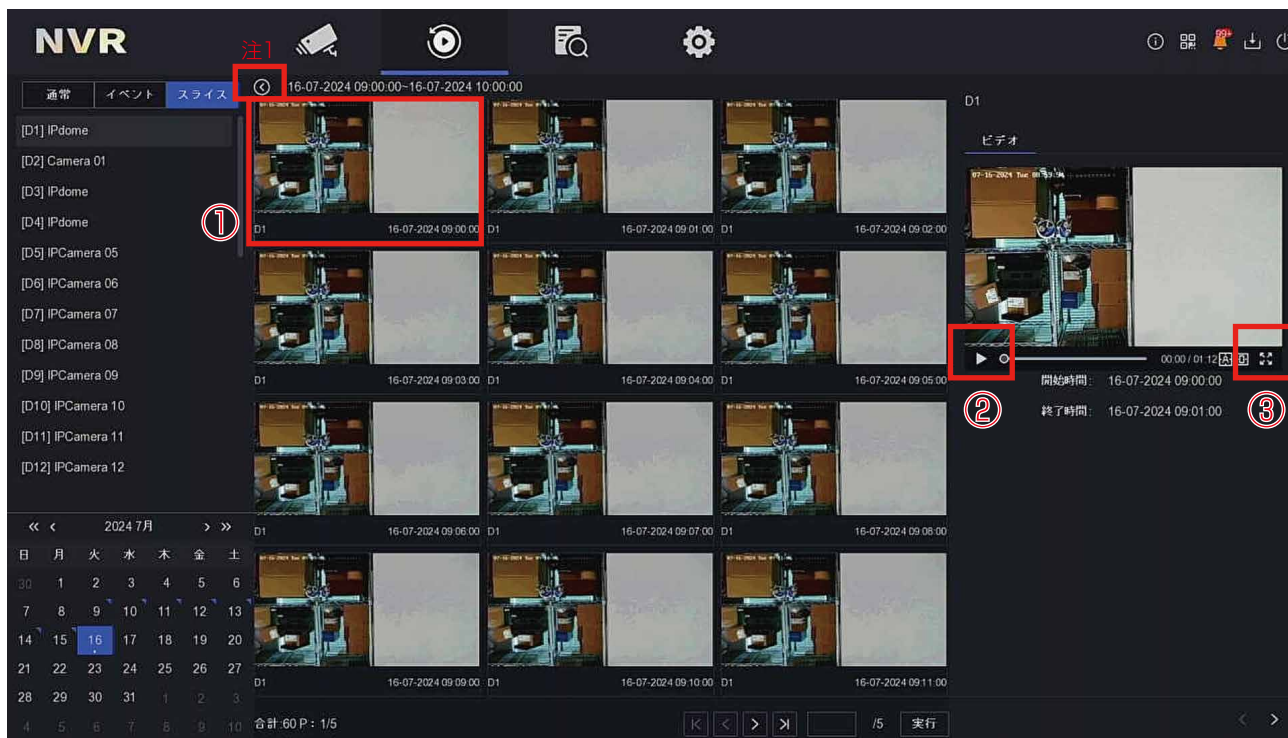
見たい時間帯の画像リスト(アイコン)へ、マウスカーソルを重ねて（オンマウス）表示される「スライス」アイコンをクリックします。



録画映像の再生方法（スライス再生）

(5) 分単位の画像リストが表示されます。

- ① 見たい時間帯の画像リストを選択します。(1分単位で表示)
- ② 再生ボタンで映像確認を行うことができます。
- ③ フルスクリーン表示切替ができます。



■ 「別の日付」もしくは「別の時間帯」の映像確認をしたい場合。（※注1）

画面左上にある  アイコンをクリックすると、直前の選択画面へ戻ることができます。あらためて日付・時間を指定し映像確認を行なってください。

人物・車両検知設定①

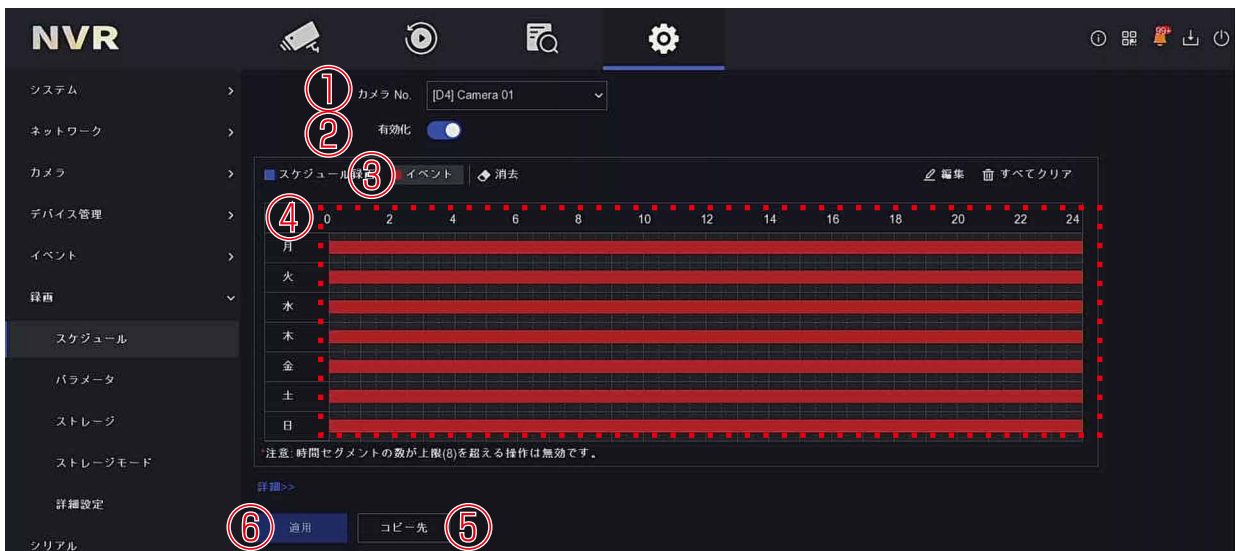
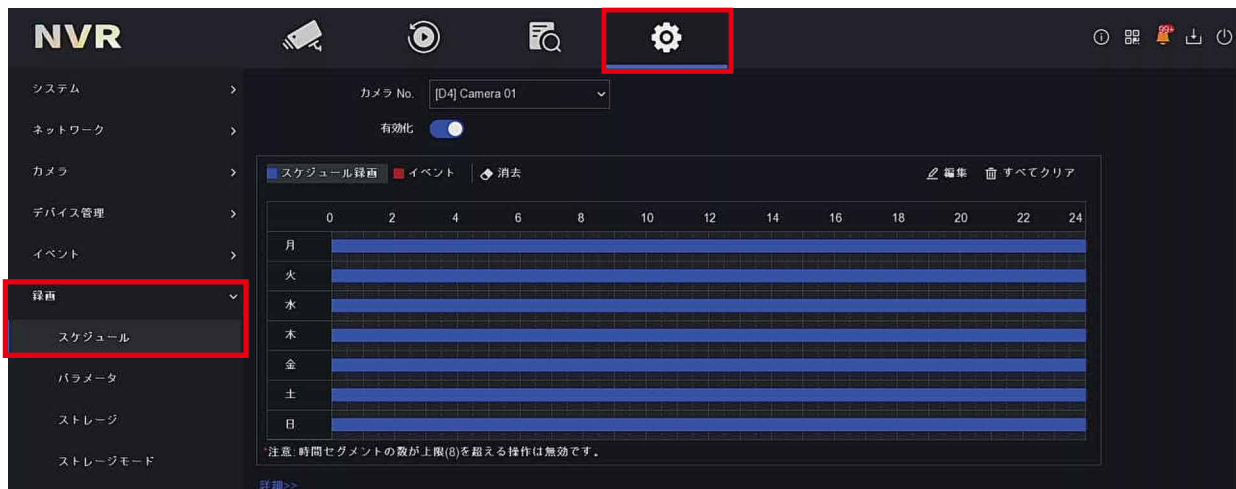
人物と車両に特化したターゲット検知が可能です。

<条件・特徴>

- ・ HITOCAシリーズカメラに限ります。
- ・ 録画モードを「動体検知録画」への設定が必要です。
- ・ 人物および車両検知時のみの発報が可能です。
- ・ ラインクロスや侵入検知も対応しています。

(1) イベント(モーション)録画設定 (※機種により設定画面が異なる場合があります。)

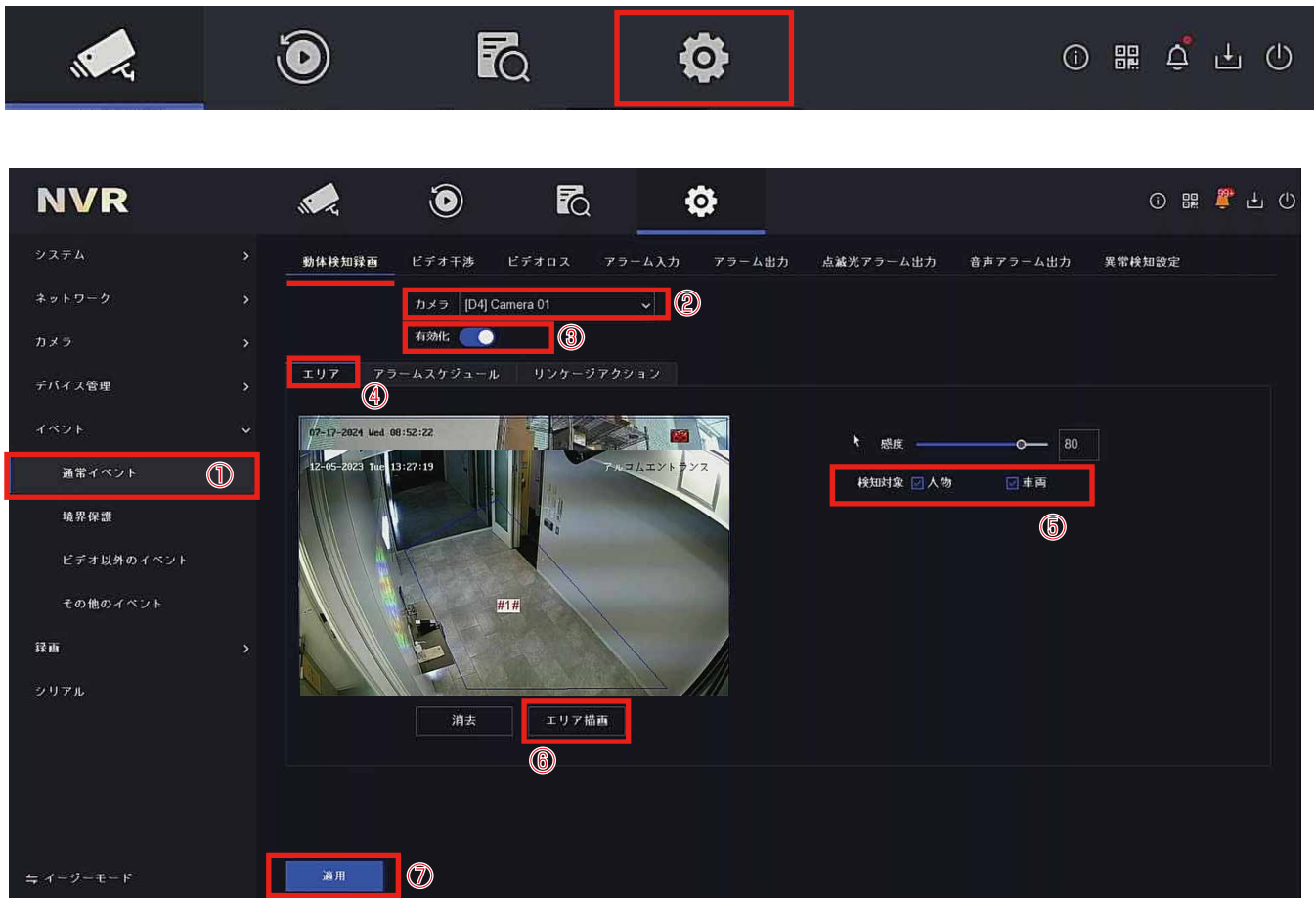
メインメニュー＞設定＞録画（スケジュール）を選択します。



- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「有効化」にチェックをいれます。
- ③ イベントをクリックします。 ※矢印カーソルがペンの形に変わります。
- ④ スケジュールの範囲をドラッグで指定します。(イベントで指定すると赤色になります)
- ⑤ 他のカメラに同じ内容のスケジュールを適用する場合「コピー先」をクリックします。
- ⑥ 設定完了後、適用をクリックします。

人物・車両検知設定②

(2) 検知モード、検知範囲の設定 (※機種により設定画面が異なる場合があります。)
メニューより「設定」を選択します。



①左メニューより「通常イベント」を選択。

画面左上にある「動体検知録画」が選択されていることを確認し、

②検知対象のカメラ番号を選択します。

③有効化にチェックを入れます。

④「エリア」を選択。

⑤検知対象にチェックを入れます。※必要に応じて感度調節を行います。

⑥「エリア描画」ボタンを押し、カメラ画像上で範囲指定を行います。

※初期設定で既に検知範囲が青枠で（#1#）設定されています。

必要に応じて消去のうえ新規で検知範囲の設定を行ってください。

（注意：右クリックで範囲の確定操作ができます。）

⑦「適用」ボタンを押し、検知範囲の設定完了です。

人物・車両検知設定③

(3) 検知時の発報設定 (※機種により設定画面が異なる場合があります。)
メニューより「設定」を選択します。



①左メニューより「通常イベント」を選択。

②検知対象のカメラ番号を選択します。

③「有効化」にチェックを入れます。

④「リンケージアクション」を選択。

人物・車両検知時の発報動作を設定できます。

(ポップアップアラーム画面 / ブザー / 監視センターへ送信 / メール送信)

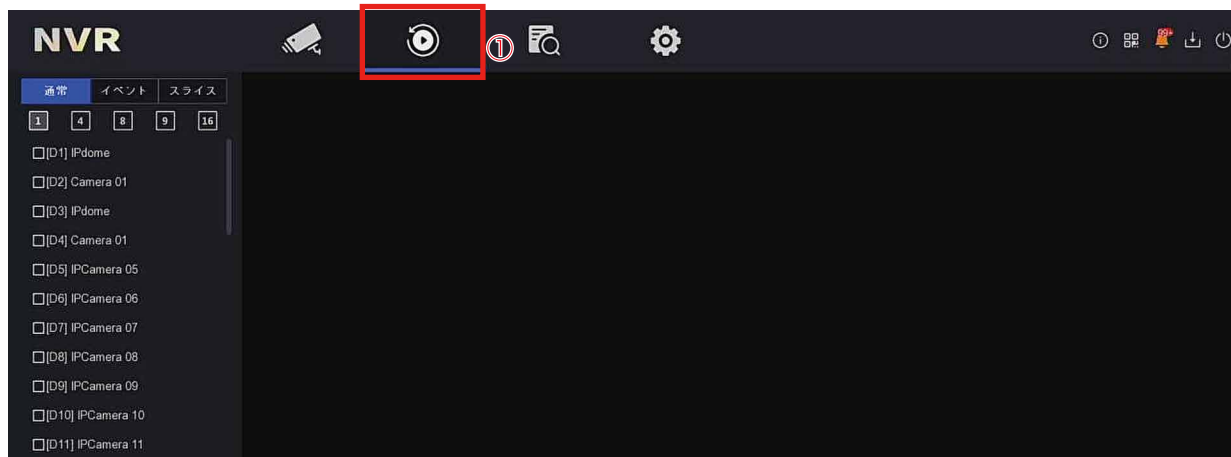
⑤検知時に動作させる項目に、チェックを入れます。

⑥「適用」ボタンを押し、検知範囲の設定完了です。

(4) スマート検索 (※機種により設定画面が異なる場合があります。)

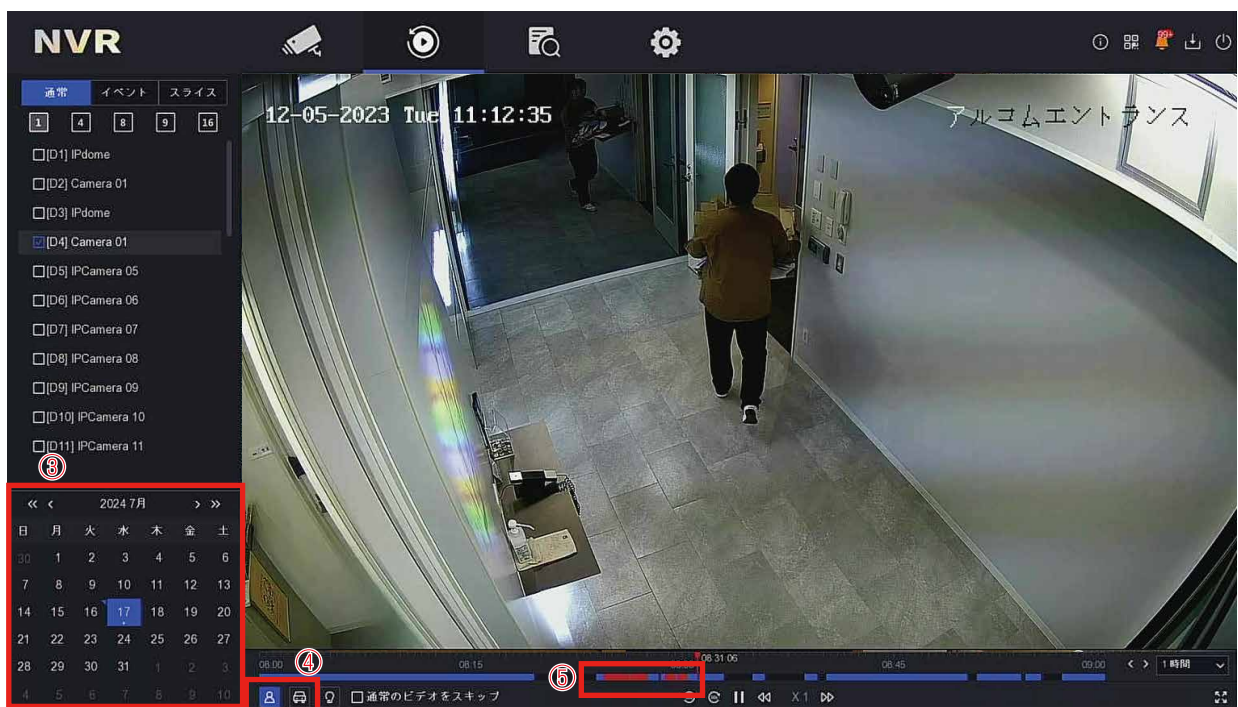
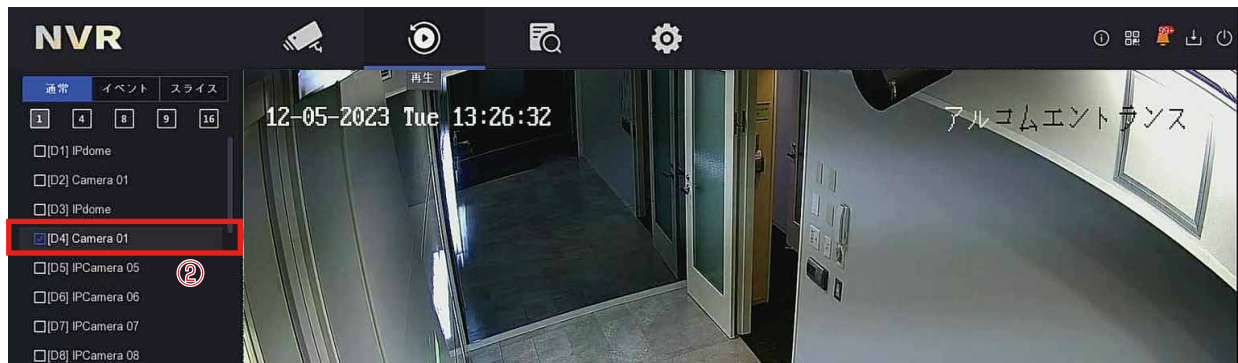
人物検知、もしくは車両検知録画した箇所のみを抽出して再生することができます。

①メニューより「再生」を選択します。



人物・車両検知設定④

②スマート検索したいchにチェックを入れます。



③カレンダーより再生したい日付を指定します。

④「人物」もしくは「車両」アイコンをONにすると、スマート検索ができます。

⑤指定したターゲットで検知した録画箇所のみ、赤帯で表示されるようになります。

録画映像のバックアップ①（エクスポート）

■ 記録した映像の出力

本体に録画した映像をエクスポート（バックアップ）する場合は、次の操作を行います。

- （１）USBメモリ等の外部記録媒体を用意します。
- （２）本体のUSB端子にUSBメモリ等を差し込みます。

※USB機器の対応フォーマットは、FAT32のみです。exFATは未対応です。



- （３）メインメニューより「検索」のアイコンを左クリックします。



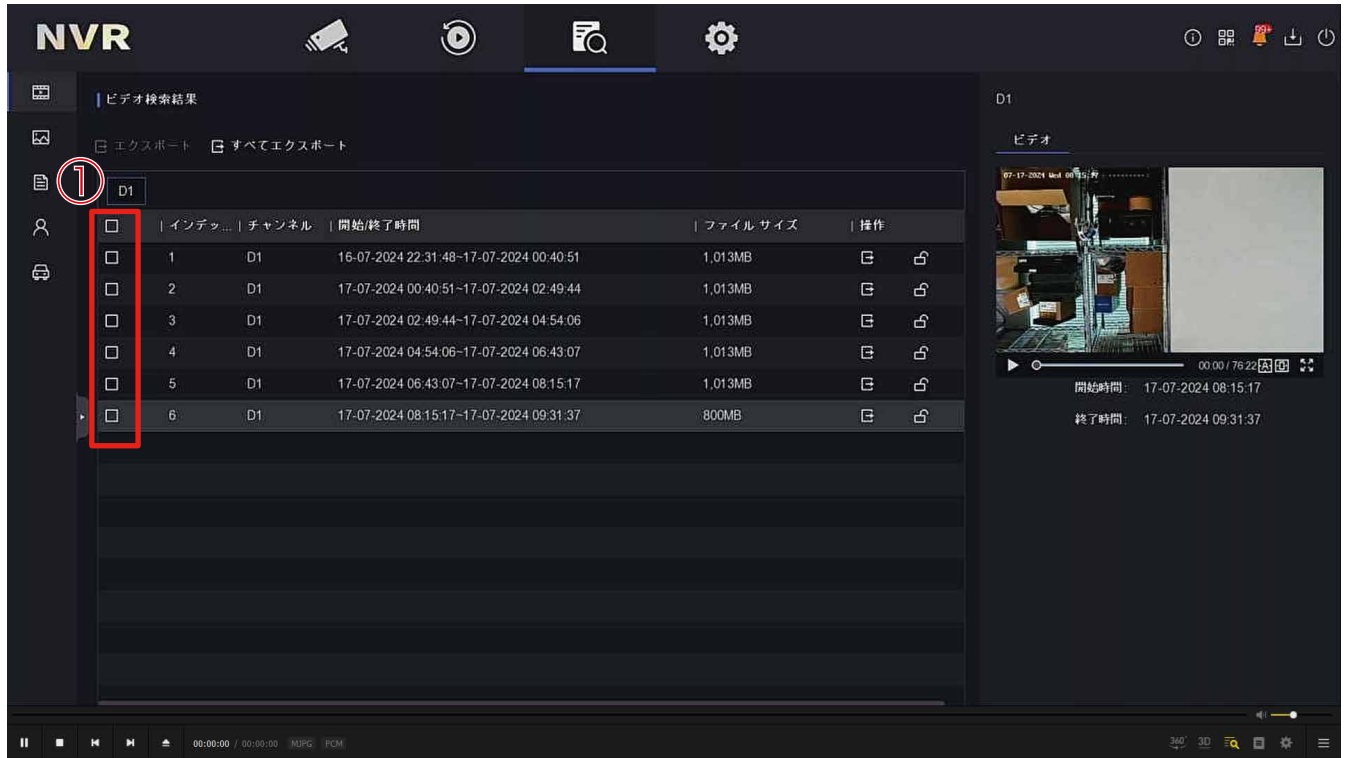
- （４）エクスポートする期間（開始時間と終了時間）とエクスポートするカメラチャンネルを指定し、「検索」を左クリックします。



録画映像のバックアップ①（エクスポート）

(5) 検索結果が表示されます。

- ①エクスポートしたい映像ファイルにチェックを入れます。
- ②上部の「エクスポート」を左クリックします。



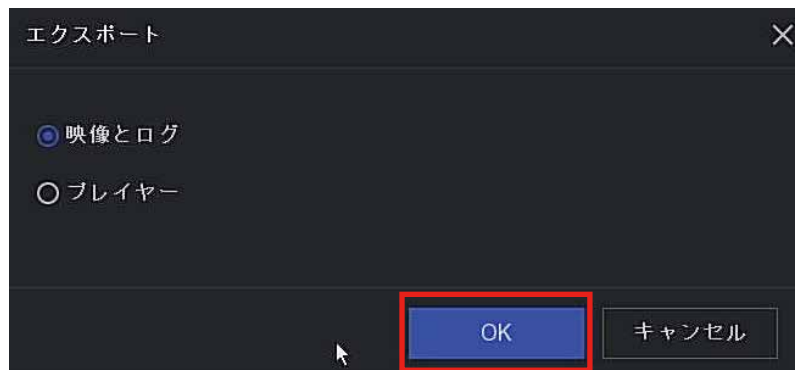
※エクスポートする映像ファイルは1GBごとに分割され、リスト表示されます。

録画映像のバックアップ①（エクスポート）

（６）エクスポートする項目を選び、「OK」をクリックします。次の２つの中から１つを選択し、「OK」をクリックすると保存場所が表示されます。

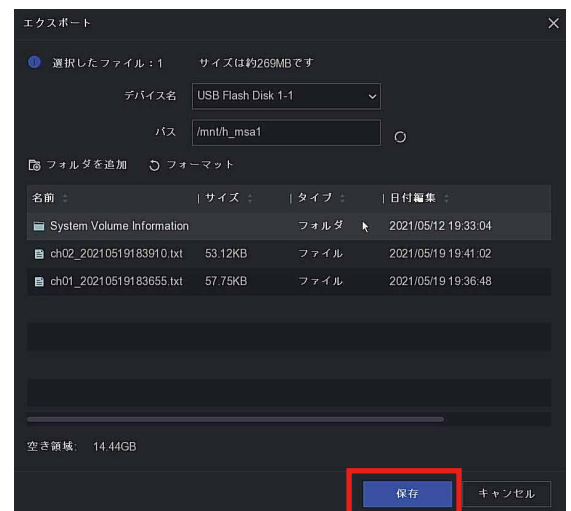
初めての場合のみ「映像とログ」「プレイヤー」両方を保存し、２度目以降は「映像とログ」を選択します。

- ・映像とログ：選択した映像ファイルとログファイルをエクスポートします。
- ・プレイヤー：再生プレイヤーのみエクスポートします。

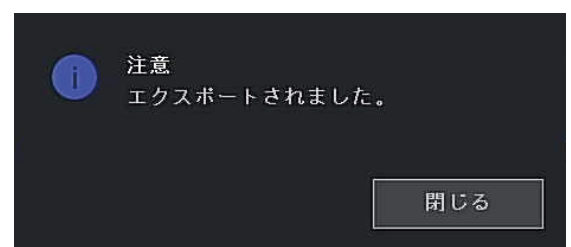


（７）本体に差し込んだUSBメモリなどを保存場所として指定します。
指定後「保存」を左クリックします。

※本体にUSBメモリなどが差し込まれていない場合、保存場所指定画面は表示されません。



（８）エクスポートの完了後、
本体からUSBメモリなどを取り外します。
以上で録画映像のエクスポートは完了です。

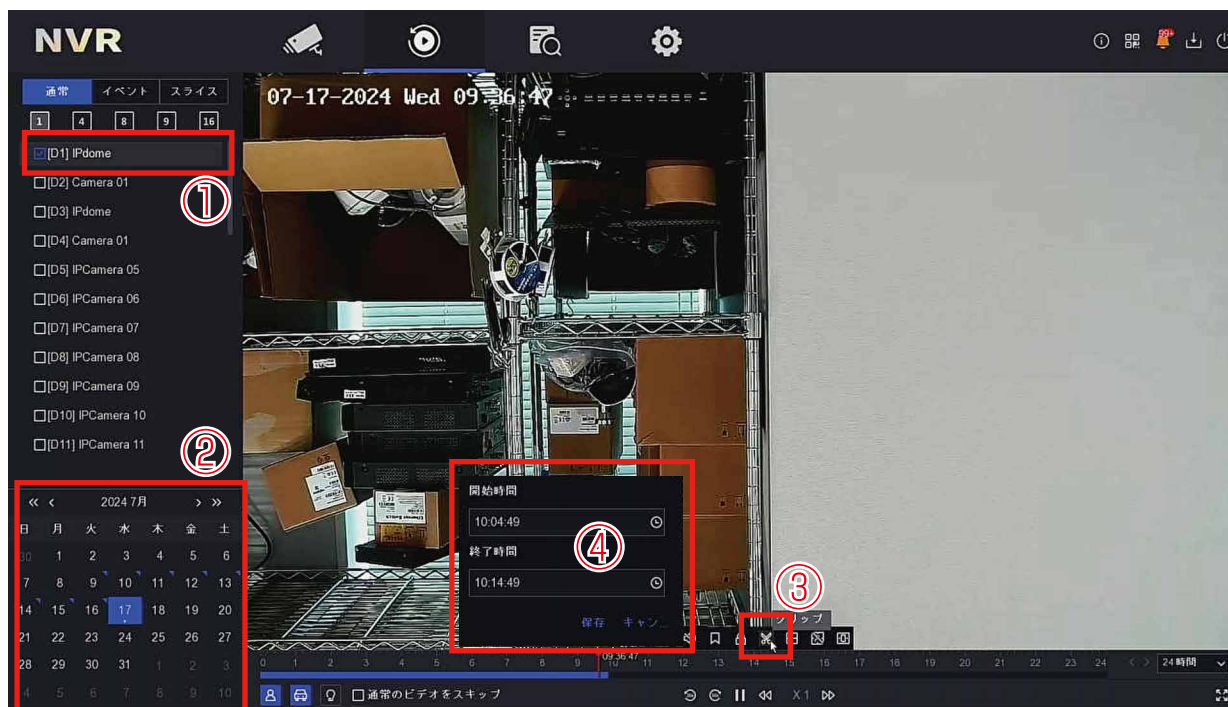


録画映像のバックアップ②（クリップ）

（１）メインメニューより「再生」のアイコンを左クリックします。



（２）下記の手順にて、バックアップ（クリップ）を行います。



①バックアップ（クリップ）したいカメラchに、チェックを入れます。

②カレンダーより、バックアップする日付を選択します。

③画面右下の  クリップアイコンを左クリックします。

④バックアップしたい時間（開始時間）と（終了時間）を指定します。

※最大24時間、日をまたいでの指定はできません。

上記の設定を行ない「保存」ボタンを押します。

（３）ファイル保存形式の指定。

画面右側へ設定ウィンドウが表示されます。

詳細は、前ページの（６）（７）項目をご参照ください。

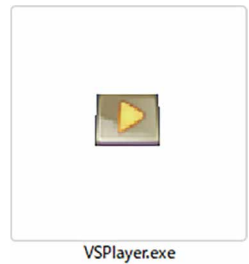
（４）バックアップ（クリップ）の進捗確認。

詳細は、前ページの（８）項目をご参照ください。

エクスポート(バックアップ)映像の再生方法

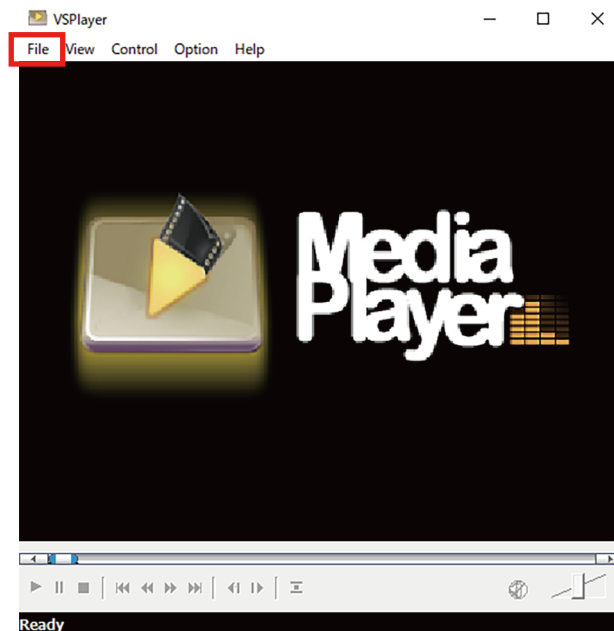
■ エクスポートした映像の再生

(1) パソコンにエクスポート映像を保存したUSBメモリなどを接続して、映像とともにエクスポートした再生プレイヤー (VSPlayer) を起動してください。



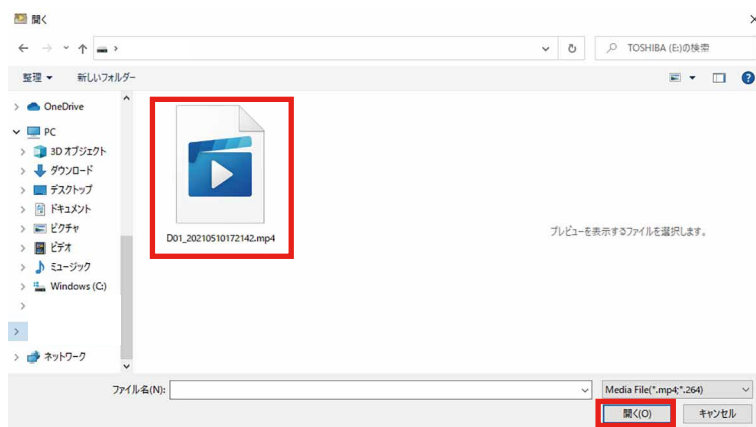
※映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされていますが、上記のプレイヤー以外では再生できない場合がございます。

(2) プレイヤーの起動後、左上のFileメニューよりOpenをクリックします。



エクスポート(バックアップ)映像の再生方法

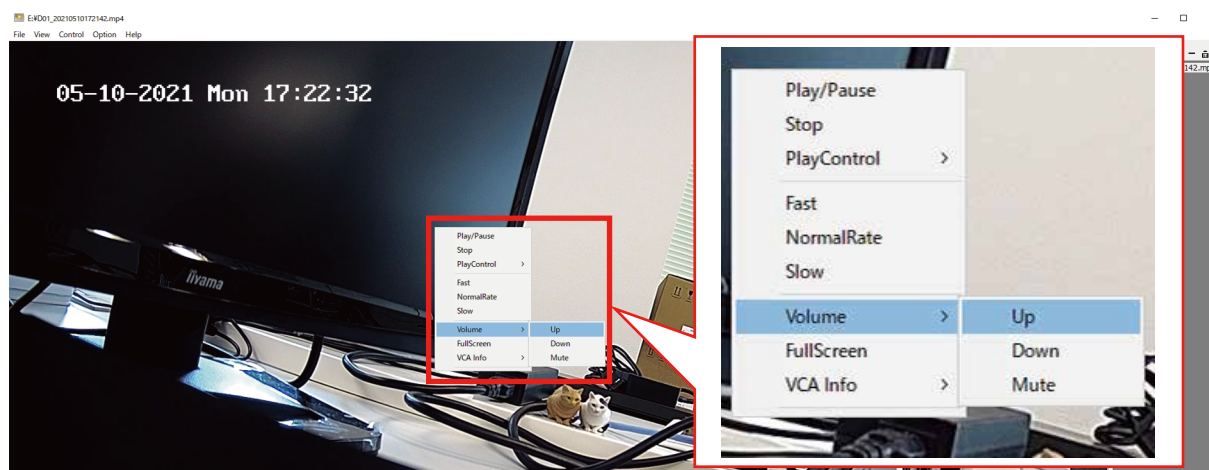
(3) 保存したフォルダを開き、エクスポートした映像ファイルの選択後、「開く」を左クリックします。



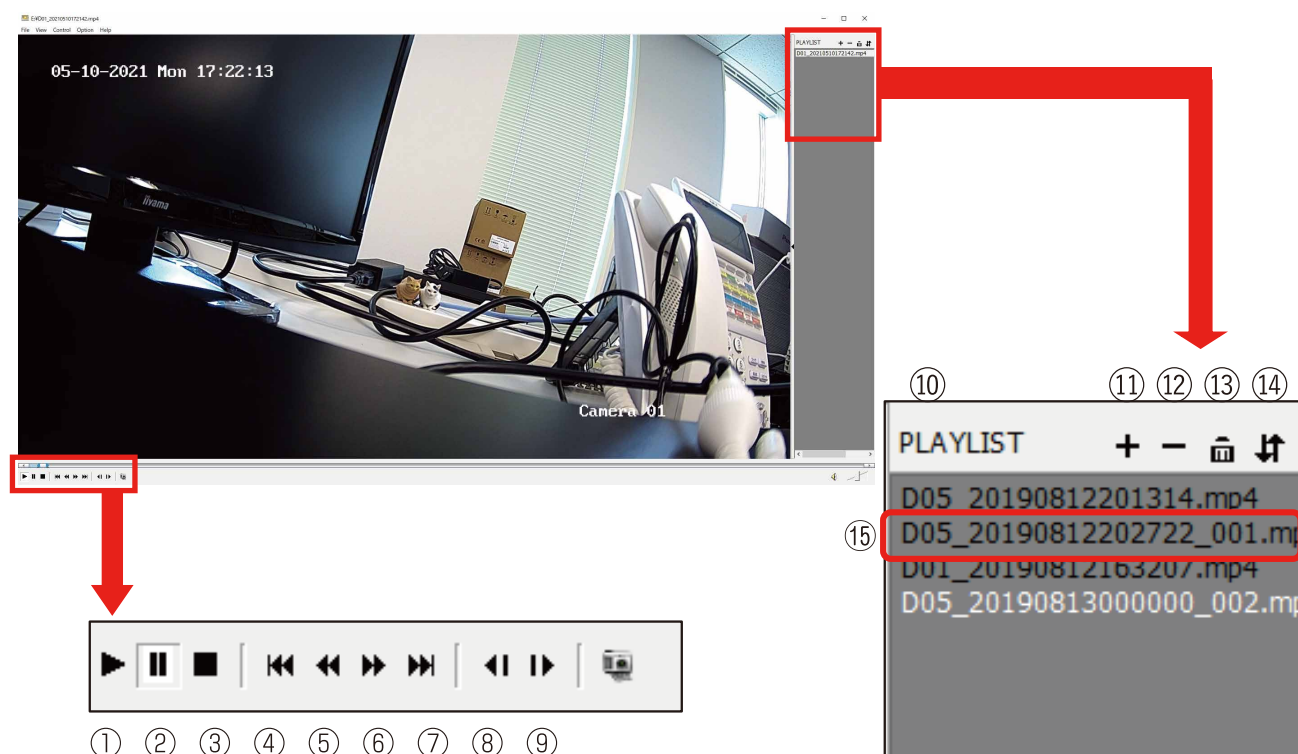
(4) エクスポートした映像が表示されます。再生は操作パネルから行います。



(5) 再生画面の上で右クリックするとメニューが表示され、volumeにマウスのポインタを当てると、音量の調節が行えます。※録音した映像の場合のみ。



エクスポート(バックアップ)映像の再生方法

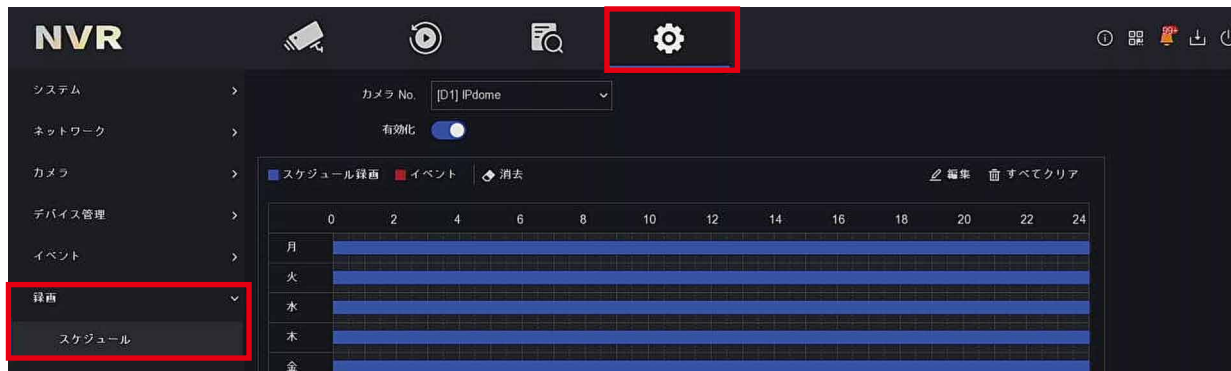


① ▶	映像の再生を行います。
②	映像を一時停止します。
③ ■	映像を停止します。
④ ⏮	映像の一番最初へ移動します。
⑤ ⏪	再生速度のスピードをダウンします(最高1/16倍速)
⑥ ⏩	再生速度のスピードをアップします(最高16倍速)
⑦ ⏭	映像の一番最後へ移動します。
⑧ ⏮	コマ戻しします。
⑨ ⏭	コマ送りします。
⑩ PLAY LIST	映像のリストです。
⑪ +	ファイルの追加
⑫ -	ファイルの削除
⑬ ごみ箱	全削除
⑭ ↑↓	順次・単独・リピート再生のモードを切り替えます。
⑮ *****.mp4	再生したいリストをダブルクリックすると再生されます。

録画スケジュール設定（常時・スケジュール）

■ 常時録画の設定方法

（１）メインメニューより「設定」のアイコン→「録画」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。

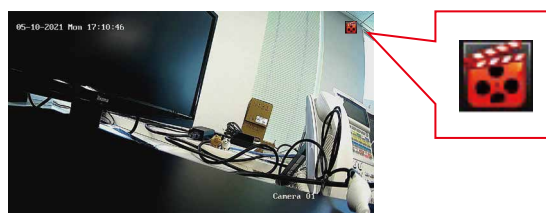


（２）「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」のボタンを押します。
- ③ スケジュール録画をクリックします。
※矢印カーソルがペンの形に変わります。
- ④ スケジュールの範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じ内容のスケジュールを適用する場合「コピー先」をクリックします。
- ⑥ 設定完了後、適用をクリックします。



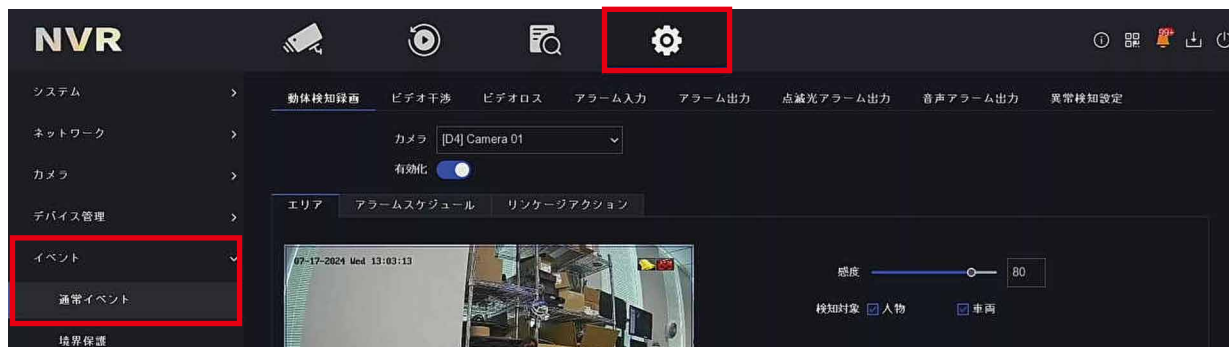
（３）録画が開始されると、ライブ映像画面の右上に赤色の録画マークが表示されます。



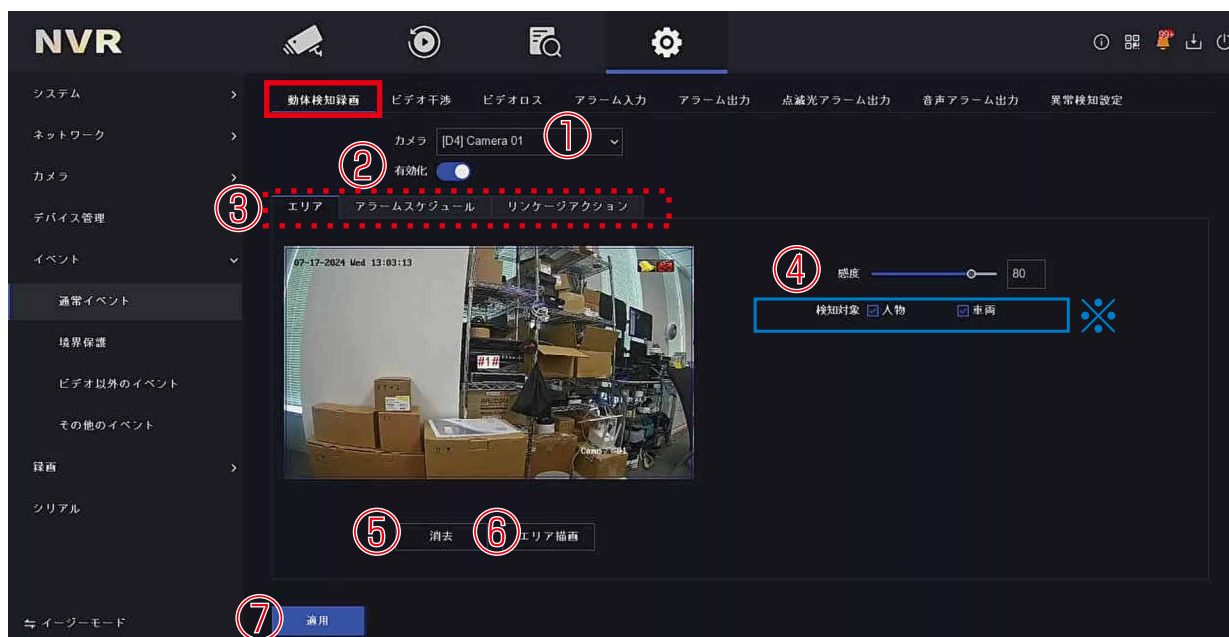
録画スケジュール設定（動体検知録画）

■ 動体検知録画の設定方法

（１）メインメニューより「設定」のアイコン→「イベント」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。



（２）画面左上の「動体検知録画」をクリックします。

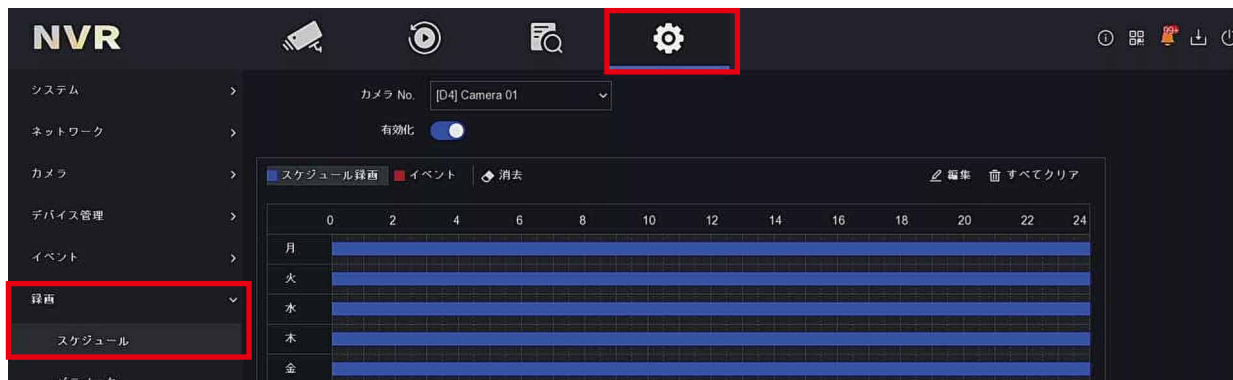


- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「有効化」にチェックを入れます。
- ③ 必要に応じて処理方式を設定します。
※動きを検知した際に録画機で音を鳴らす、などの設定
- ④ 感度を設定します。左側が感度が低く、右側が感度が高くなります。
- ⑤ 検知範囲を設定します。クリックで範囲を指定できます。
- ⑥ 検知範囲を解除（クリア）する場合にクリックします。
- ⑦ 設定完了後、適用をクリックすると完了です。

※青枠のターゲット検出「人体」「車両」は動体検知2.0の機能に対応したカメラを接続した場合のみ表示されます。

録画スケジュール設定（動体検知録画）

（３）メインメニューより「設定」のアイコン→「録画」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。

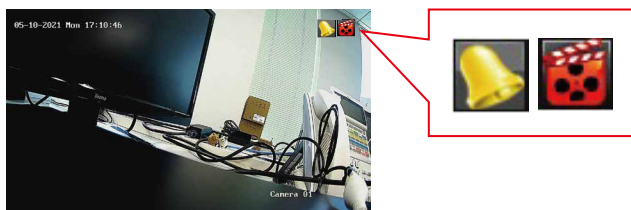


（４）「スケジュール」画面にて設定を行います。



- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「有効化」にチェックをいれます。
- ③ イベントをクリックします。 ※矢印カーソルがペンの形に変わります。
- ④ スケジュールの範囲をドラッグで指定します。（イベントで指定すると赤色になります）
- ⑤ 他のカメラに同じ内容のスケジュールを適用する場合「コピー先」をクリックします。
- ⑥ 設定完了後、適用をクリックします。

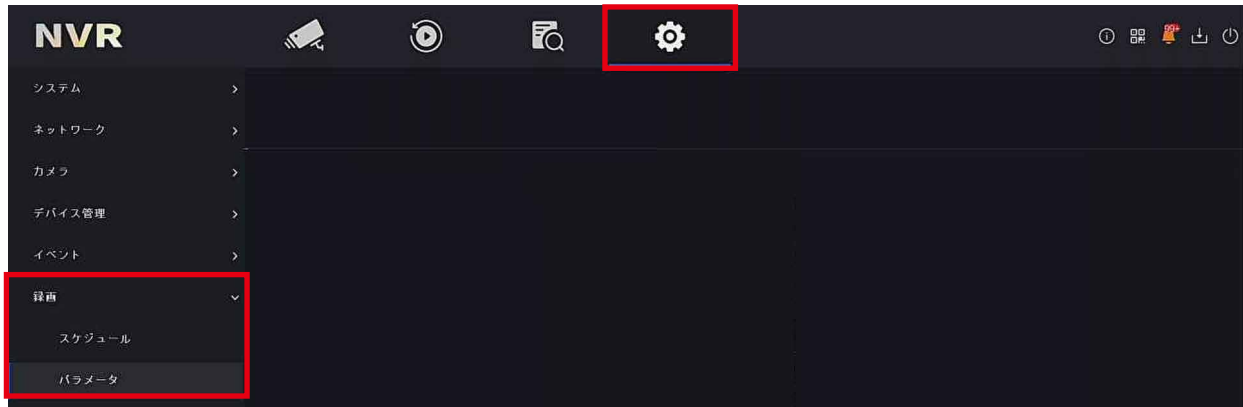
（５）動体検知などの設定したイベントが発生した際に、ライブ映像画面の右上に赤色の録画マークが表示されます。



録画設定（パラメータ）

■ 録画する条件変更の設定方法

（１）メインメニューより「設定」のアイコン→「録画」→「パラメータ」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。



（２）解像度、フレームレートの設定を行います。【メインストリーム】
メインストリームは録画・１画面及び４分割の画面の際に使用される映像です。



- ① 設定するカメラを選択します。
 - ② 解像度の設定項目です。プルダウンの中から選んでください。
 - ③ 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良いままですがデータの量が増えます。
 - ④ フレームレート（秒あたりのコマ数）の設定です。一般的に１０程度まで設定します。
 - ⑤ 最大ビットレート・秒あたりのデータ量の上限を設定します。一般的には⑥の推奨値の範囲内で指定します。
 - ⑥ 動体検知やアラーム検知などの際の録画条件を設定します。特に使用しない場合は、（スケジュール）と同じ設定を入力してください。
- ※マイク付きカメラの場合はストリームタイプを「映像と音声」に変更してください。

入力が完了したら「適用」を押してください。反映されると「適用」が押せなくなります。

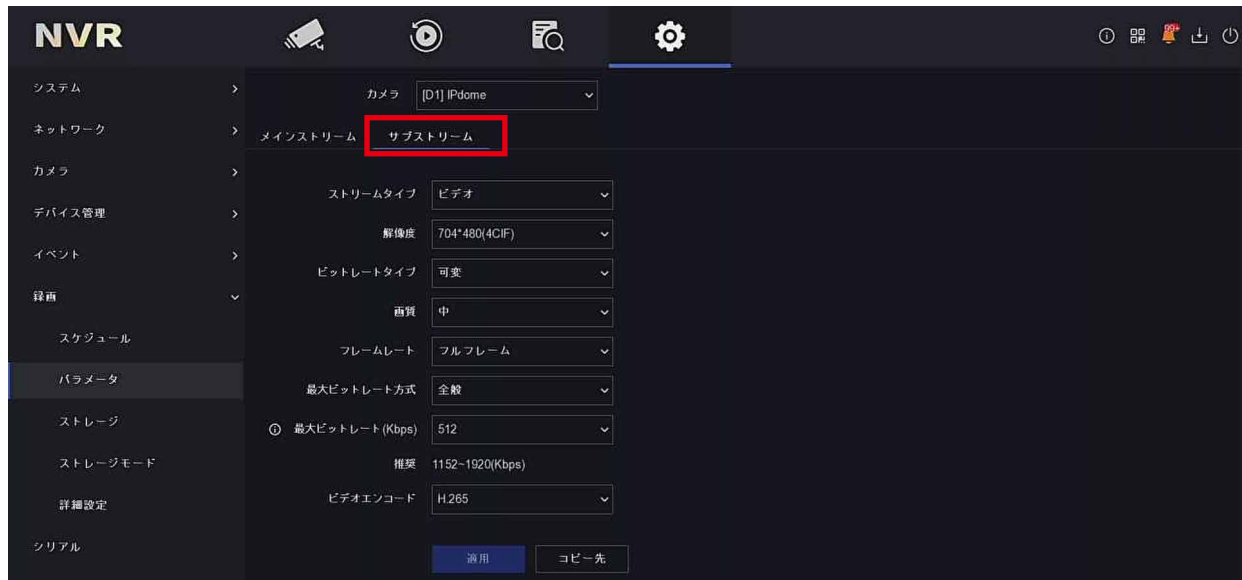
録画設定（パラメータ）

（3）解像度、フレームレートの設定を行います。【サブストリーム】

サブストリームは4分割よりも多い分割画面の表示の際に使用される映像です。

画面上の「サブストリーム」を選択してください。

そのほかは前ページの「メインストリーム」と同じ要領で各カメラに設定します。



※レコーダーによりませんが、フレームレートはメインストリームと同じ設定にすることを推奨しています。

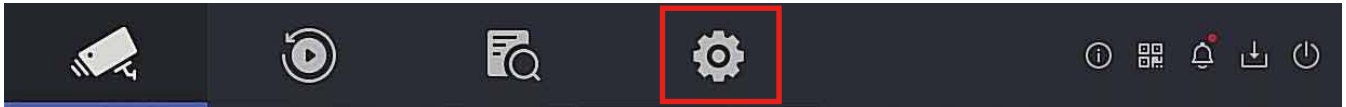
メインストリーム・サブストリームどちらも、最大ビットレート設定に注意してください。最大ビットレートの合計値の許容範囲が決められており、範囲を超えて設定された場合、映像が表示されないなどの症状が発生する場合がございます。

画面上に「No Resource」と表示されて映像が出ない場合は、この最大ビットレート設定が理由の場合が多いので、表示された場合はメインストリーム、サブストリームの設定を見直してください。

最大ビットレートの範囲は、「推奨範囲」以下の設定も可能です。ただし、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますがノイズなどが発生し、本来の解像度の効果を発揮できない場合がございます。

NVRのネットワーク設定方法

(1) メニューバーより「設定」のアイコンを選択します。



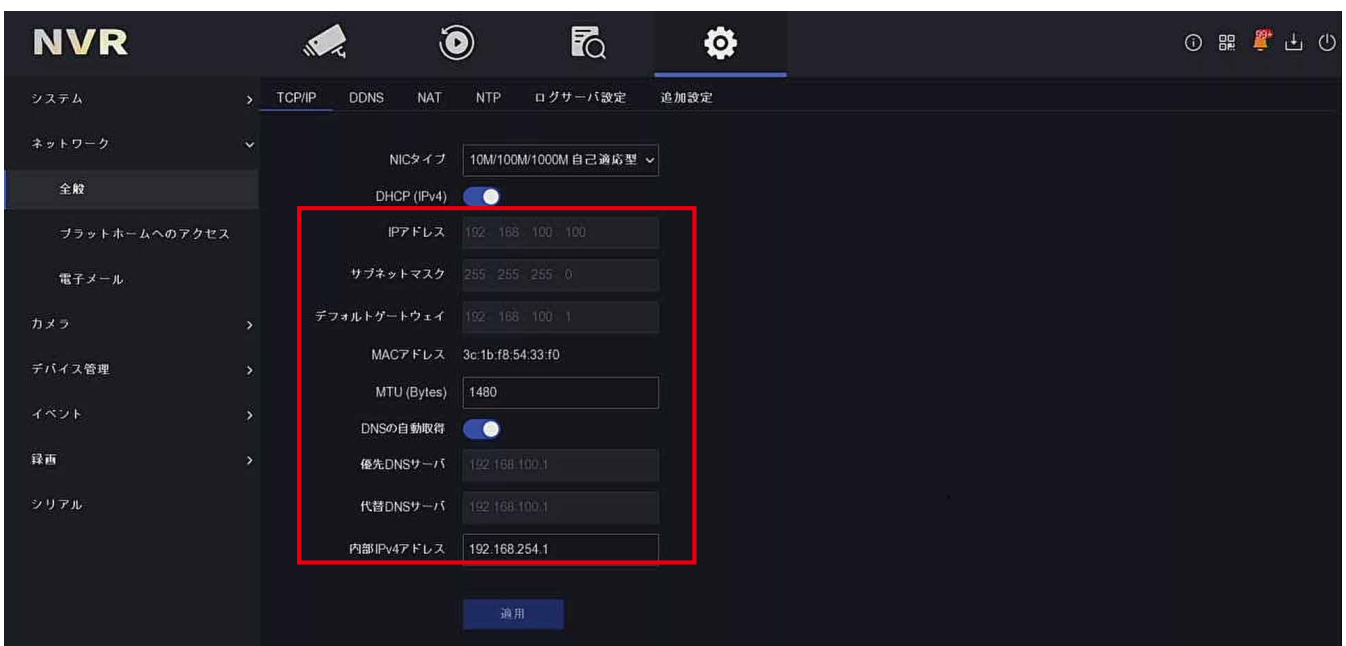
(2) 左側メニューの「ネットワーク」を左クリックします。

- ① DHCP有効にチェックを入れます。
- ② 「適用」を左クリックすると、
各項目が自動的に入力されます。
- ③ DHCP有効のチェックを外します。
- ④ 「適用」を左クリックします。



(3) NVRに設定するIPアドレスが決まっている場合、IPアドレス・サブネットマスク等の手動設定を行ってください。また、「内部NIC IPV4アドレス」とは、NVR背面の内蔵PoEポート側のIPアドレスになります。

内蔵PoEポートにプラグアンドプレイでカメラを繋いでいる場合、このセグメントのIPアドレスがカメラに自動的に付与されます。



(4) 設定が終了しましたら「適用」をクリックすると、完了です。

ネットワーク設定 PC設定手順

ネットワークに接続されたPCからMicrosoft Edge(IEモード)を使用して、映像の閲覧ができます。
※事前に「ネットワーク」の設定を行う必要があります。

(1) Microsoft Edgeを起動します。



(2) Microsoft Edgeのウィンドウ右上にある【…】をクリックし、表示されたメニューから【設定】をクリックします。



(3) 設定画面の左側にあるメニューから【既定のブラウザー】をクリックします。



(4) 【Internet Explorerモードでサイトの再読み込みを許可】を「許可」にします。



(5) 表示された【再起動】をクリックしてパソコンを再起動すると、【Internet Explorerモードでサイトの再読み込みを許可】の項目が「許可」に変更されます。



ネットワーク設定 PC設定手順

■Internet Explorerモードの使い方

(1) IEモードで表示したいサイトにアクセスし、ウィンドウ右上の【…】をクリックします。



(2) 表示されたメニュー中の【Internet Explorerモードで再読み込みする】をクリックします。



(3) 下図左のようなダイアログが表示されるので【完了】をクリックすると、WEBサイトをInternet Explorerモードで表示させることができます。



<注意点>

※設定項目の名称や「IEモードで再読み込みする」の表記される場所が、Edgeのバージョンによって多少異なる場合があります。

※Edge(IEモード)にてログイン～接続後に、カメラ映像表示できない場合はプラグインのインストールが正常にできていない場合があります。その場合は「Web Components」プラグインがインストールできているかご確認ください。

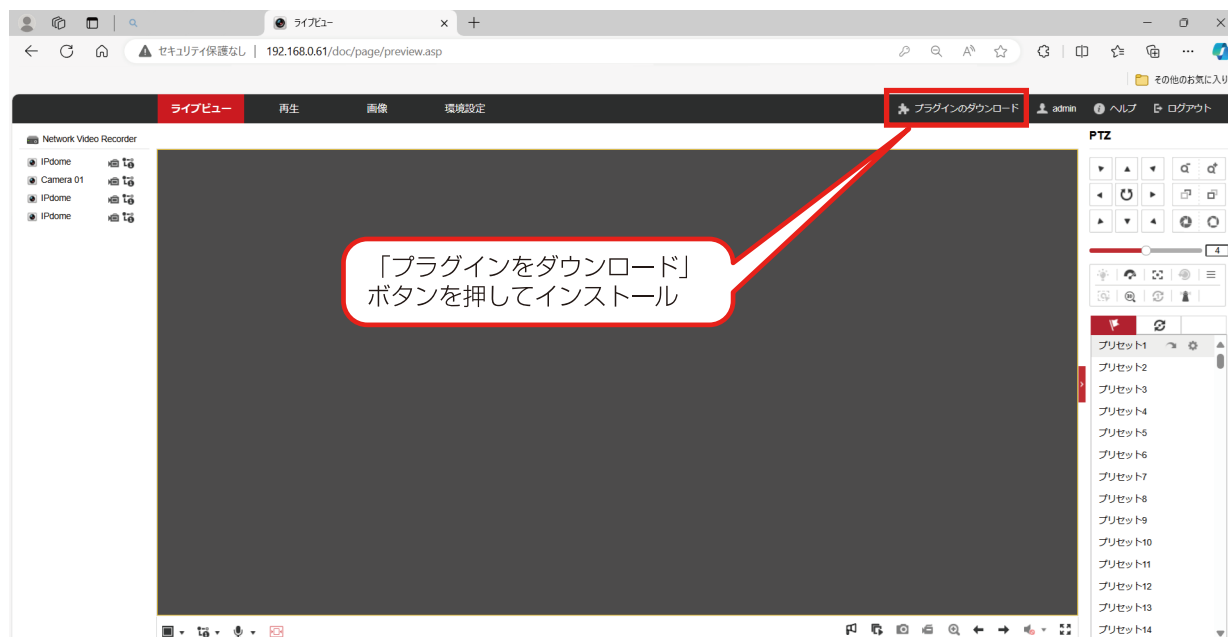
<【C:\Program Files (x86)\LocalServiceComponents】フォルダが作成されます。>

※セキュリティソフトとの組合せや、設定によっては映像表示できない場合があります。必要に応じてセキュリティ強度を落とす、もしくはアクセス許可の設定を行ってみてください。

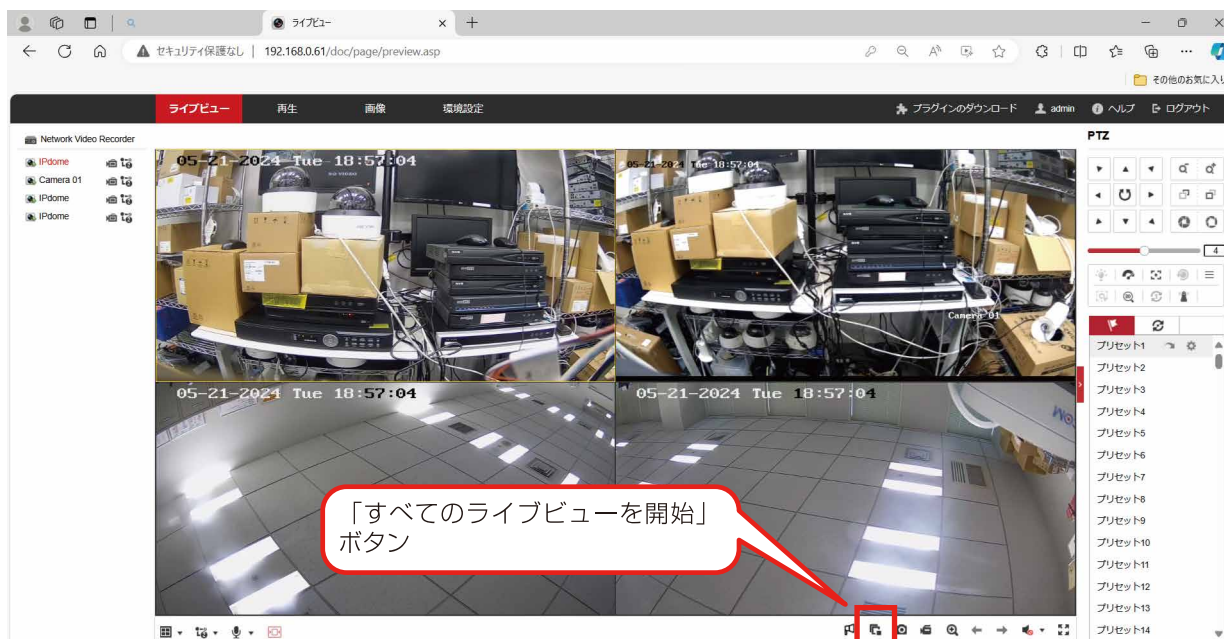
プラグインのインストール

ブラウザで接続カメラの映像を見るにはプラグインのインストールが必要です。
下記の手順でインストールを行って下さい

(1) NVRへ接続～ログイン後、画面右上に表示される「プラグインをダウンロード」ボタンを押し、お使いのPCへプラグインのインストールを行って下さい。



(2) インストール完了後、PCの再起動を行って下さい。
再起動後、接続画面の「すべてのライブビューを開始」ボタンを押すと接続カメラの映像を表示します。



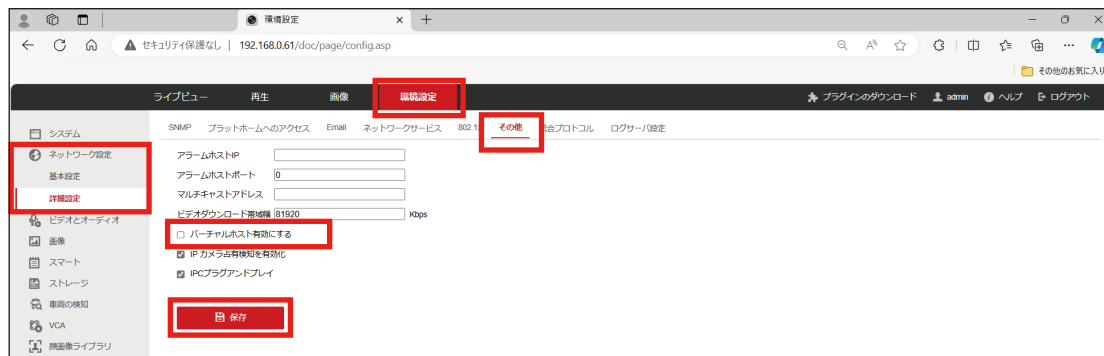
仮想ホスト(バーチャルホスト)機能

レコーダーを介して、接続したカメラの設定メニューの確認・変更を行うことができます。
下記の手順で設定をおこなってください。

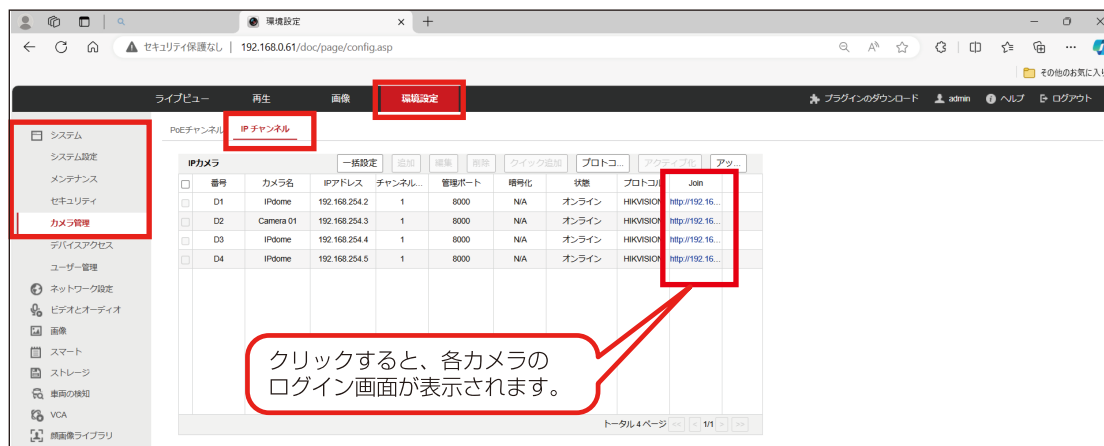
※PCからブラウザを使用して、NVRへ接続した時のみ使用できる機能です。

※NVR本体での設定項目はありません。

(1) メインメニュー > 環境設定 > ネットワーク設定(詳細設定) > その他 画面にある「バーチャルホスト有効にする」にチェック✓を入れ保存します。



(2) メインメニュー > 環境設定 > システム(カメラ管理) > IPチャンネル 画面にある「Join」項目に各カメラへの接続リンクが青色で表示されます。
リンクアドレスをクリックすると、各カメラのログイン画面が表示されます。ログイン後、接続したカメラの設定メニューの確認・変更を行うことができます。



スマートフォンからの接続

スマホアプリ「Guardind Vision」(無料)にて、遠隔地から映像確認を行なえます。
下記の弊社HP (FAQサイト) にて手順をご参照ください。

■【GuardingVisionの使い方】RD-RN/RD-RVシリーズ
PC(ブラウザ)、スマホから接続手順をご確認いただけます。

①PC (ブラウザ) にて接続手順を確認したい場合は、下記リンクへアクセスしてください。
https://www.arucom.com/support/after/recorder-after/rd-rv30s/qrcodeaccess_rn-rv

②スマホから接続手順(静止画手順、動画手順)を確認したい場合は、右のQRコードを読み込み手順をご参照ください。

<静止画>



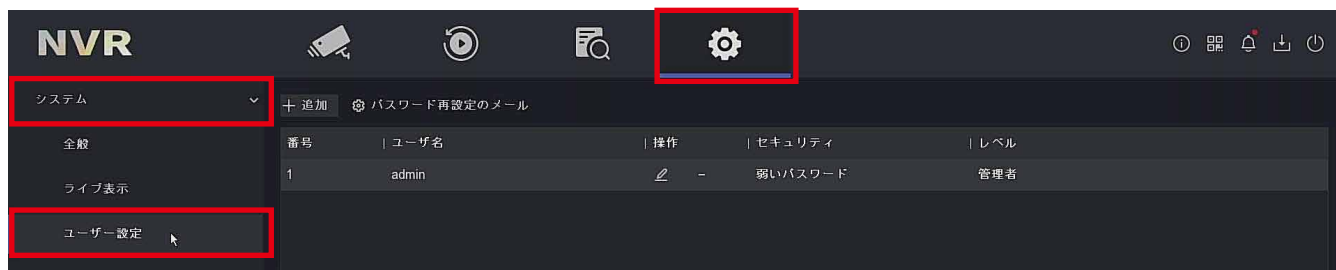
<動画>



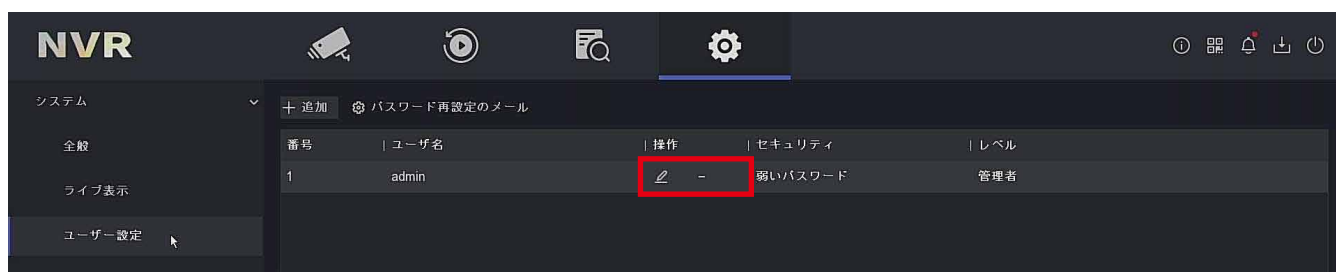
NVRのパスワード変更

■ NVRのパスワード変更方法

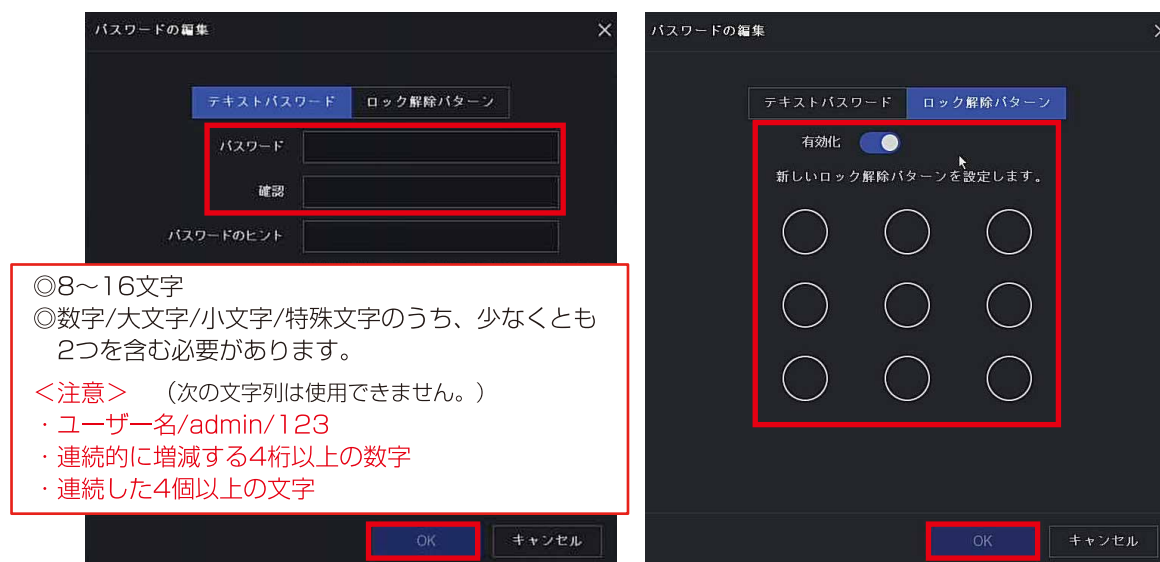
(1) メインメニューより「設定」のアイコン→「システム」→「ユーザー設定」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。



(2) パスワードの変更をしたいユーザーの「操作の鉛筆マーク」を選択します。



(3) 権限確認でパスワードを入力すると、編集画面が表示されます。



テキストパスワードの場合：パスワードの項目で右側の「変更」を押すと入力が可能になりますので、新しく設定したいパスワードを2度入力してOKを押すと、変更が完了します。

※リスクのあるパスワードは許可されていません。

ロック解除パターンの場合：有効化をオンにして入力パターンを設定し、OKを押すと変更が完了します。

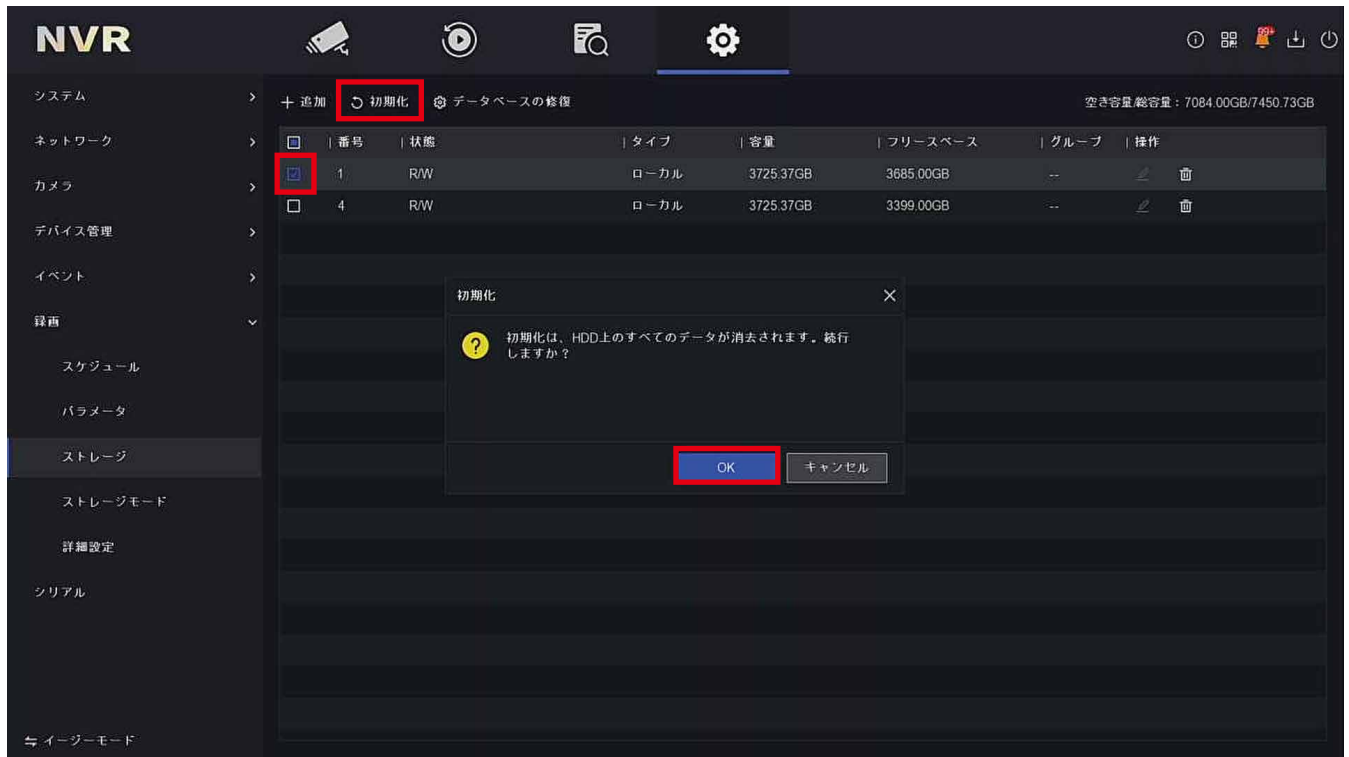
HDD初期化方法

■ HDD初期化方法

(1) メインメニューより「設定」のアイコン→「録画」→「ストレージ」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。



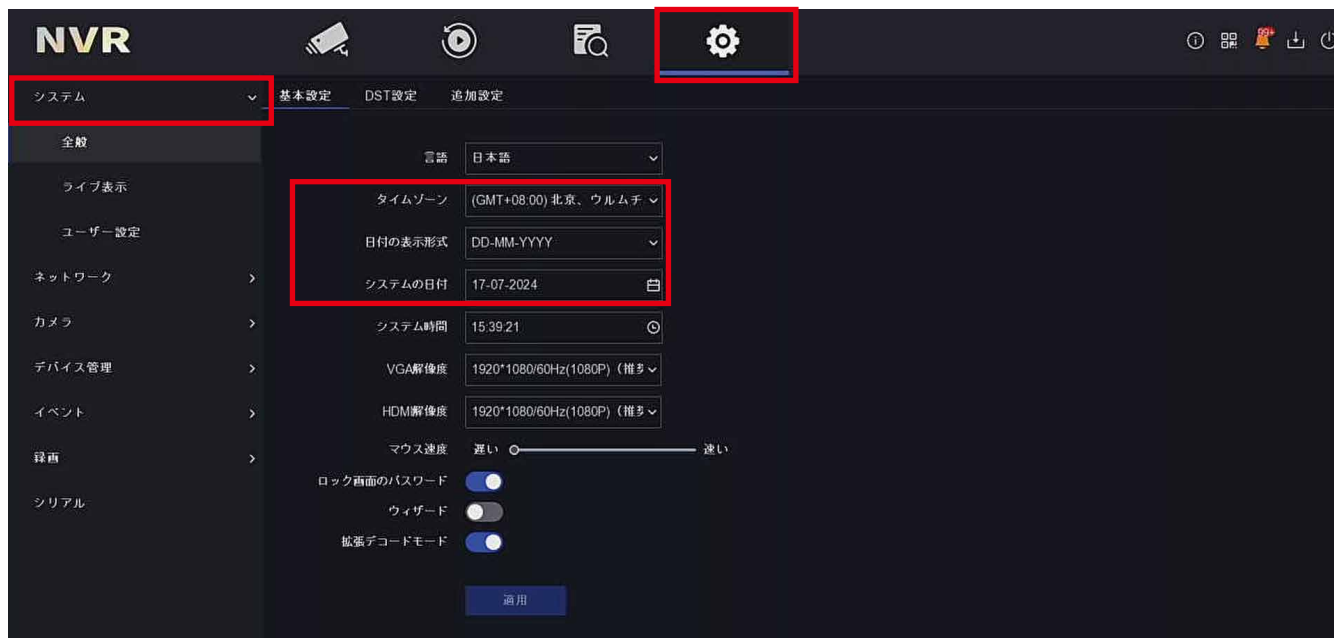
(2) 初期化したいHDDのチェックボックスを左クリックして、上部の「初期化」を左クリックすると確認画面が表示されます。「OK」を押すと初期化が実行します。



時計の設定方法、モデル・ファーム確認方法

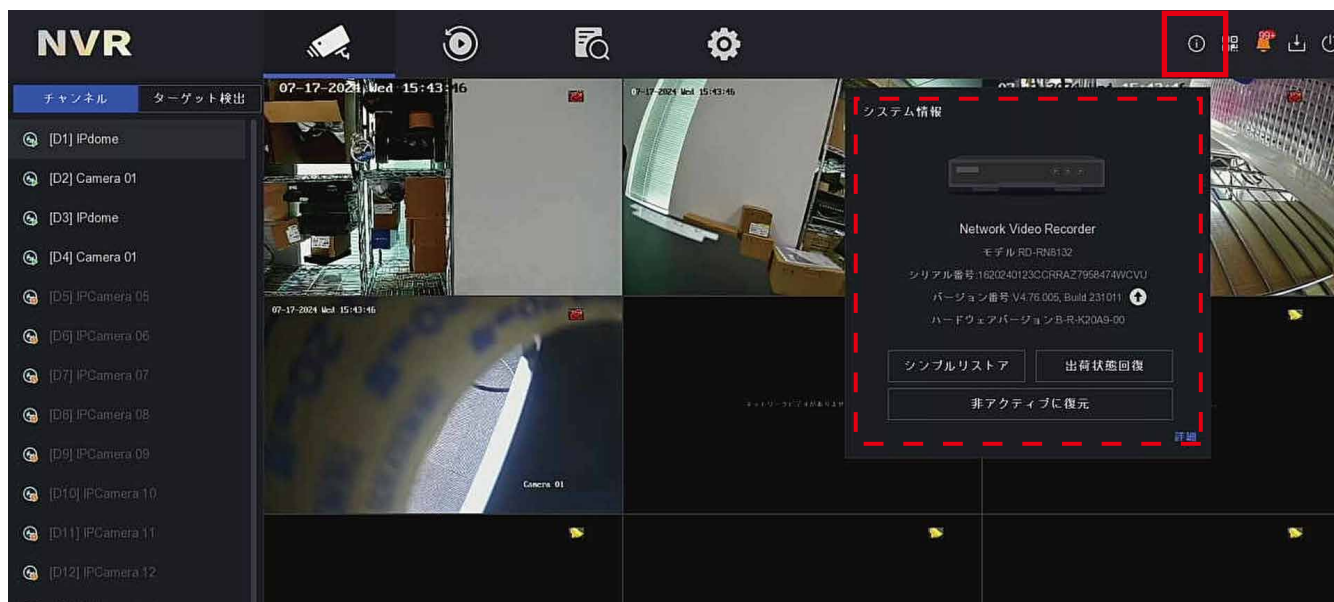
■ 時計の設定方法

(1) メインメニューより「設定」のアイコン→「システム」の順で左クリックし、設定画面へと移動します。基本設定の項目が表示され、各数値が変更可能になります。修正後、「適用」を押すと完了です。



■ モデルやファームウェアバージョンの確認方法

(1) メインメニューより「メンテナンス」のアイコンを左クリックすると、システム情報を表示します。モデルやファームウェアのバージョン番号などが表示されますので、お問い合わせの際などにご確認ください。

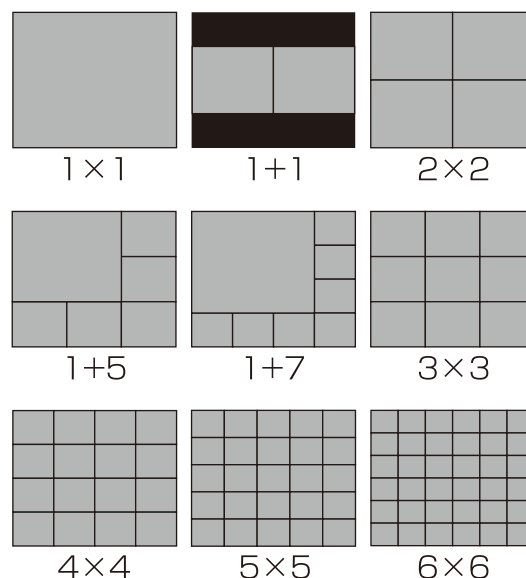


ライブ表示画面の変更、画面プライバシー設定

■ ライブ表示画面の変更方法

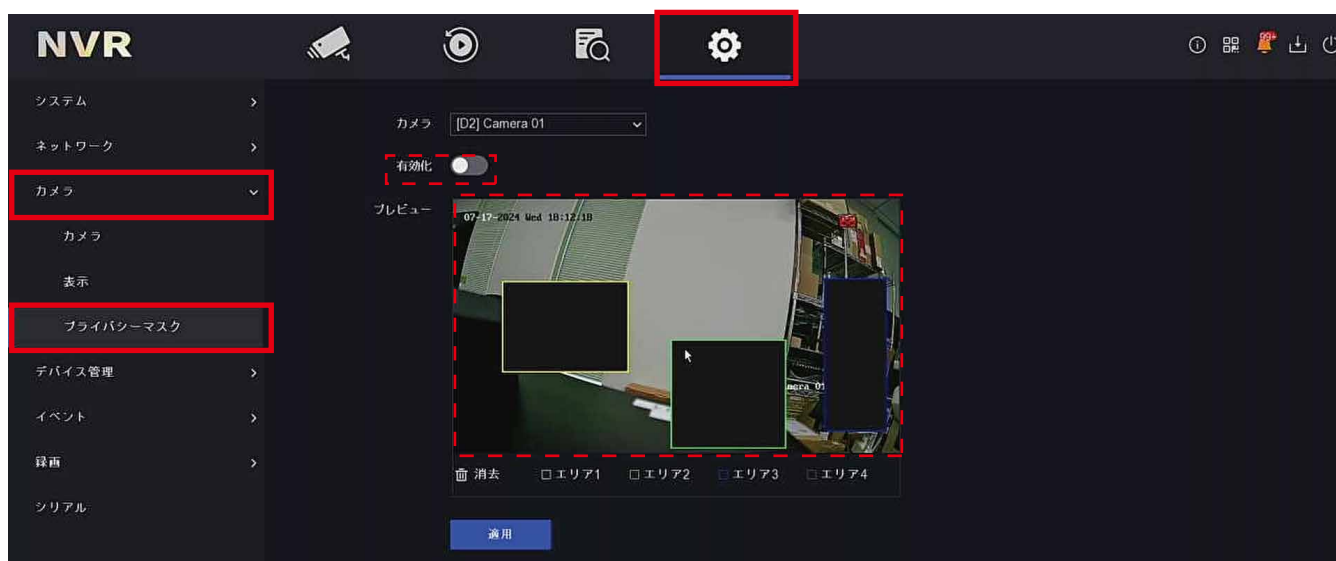
(1) メインメニューより「設定」→「システム」→「ライブ表示」の順に左クリックし、設定画面へと移動します。ウィンドウ分割の部分を設定し「適用」を押すと完了です。

※表示画面は右図のイメージを参考にしてください。



■ ライブ画面のプライバシーマスク設定方法

(1) メインメニューより「設定」→「カメラ」→「プライバシーマスク」の順に左クリックし、設定画面へと移動します。上の「有効化」にチェックを入れて、画面の隠したい部分をマウスで指定し、最後に「適用」を押すと、実際の画面でその部分が隠された状態で表示されます。



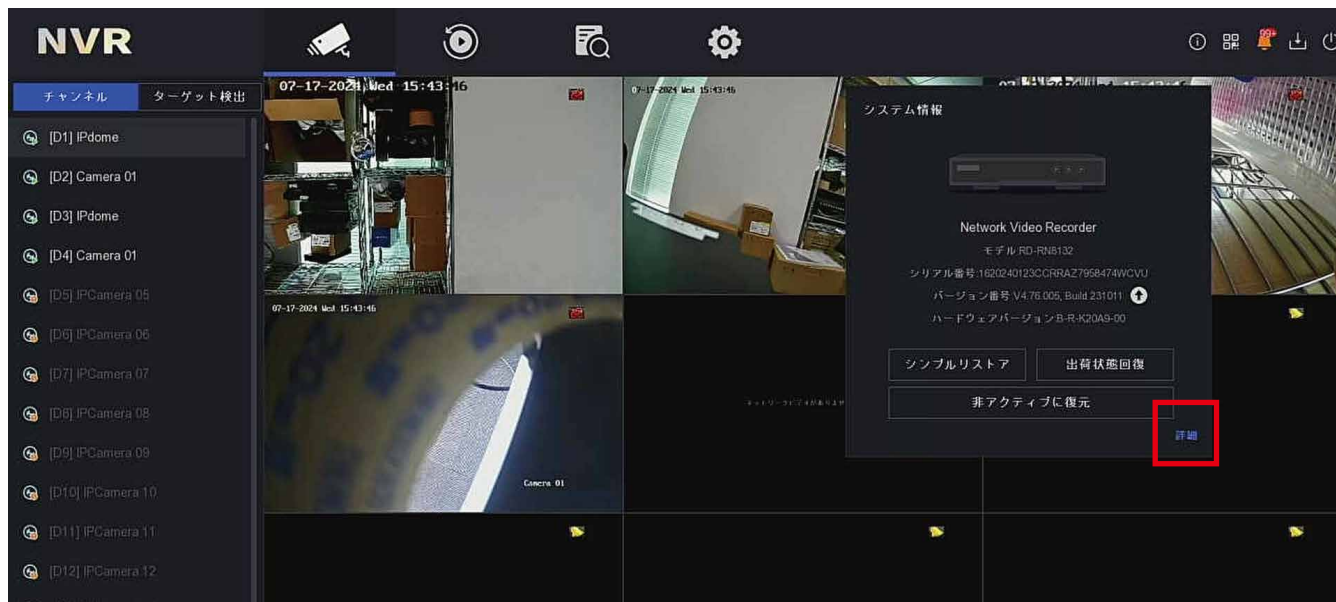
※クリアを左クリックすると、全てのエリアをクリアします。

※マスクは最大4か所で、録画もマスクされた状態で録画されます。

ログの確認方法

■ システムログの確認方法

(1) メインメニューより「メンテナンス」のアイコン→システム情報の右上の「詳細」を左クリックし、設定画面へと移動します。



(2) ログの検索範囲(日時)を指定して検索ボタンをクリックします。
※メインリストやサブリストから確認したいログを絞り込んで選択することができます。



ログの確認方法

(3) 下記のようにログが表示されます。(ログは一度に2,000件までしか表示できません)
操作の部分の (i) を押すと、ログの詳細が確認できます。

The screenshot shows a web application interface for log management. On the left is a sidebar with a menu containing 'ログ情報' (Log Information), 'システムサービス' (System Service), 'ブザースイッチ' (Buzzer Switch), and 'デバイスメンテナンス' (Device Maintenance). The main area is titled 'その他の操作' (Other Operations) and contains a table of logs. The table has columns for '番号' (Number), 'メインリスト' (Main List), '時間' (Time), 'サブリスト' (Sub List), 'パラメータ' (Parameter), and '操作' (Action). The '操作' column contains two circular icons with an 'i' inside, which are highlighted by a red rectangular box. At the top right of the main area is a blue button labeled 'エクスポート' (Export). At the bottom of the table, there is a status bar showing '合計6P: 1/1' and several navigation icons.

番号	メインリスト	時間	サブリスト	パラメータ	操作
1	▲ 異常検知設定	17-07-2024 08:22:08	IPカメラ切断	N/A	ⓘ ⓘ
2	▲ 異常検知設定	17-07-2024 08:22:16	IPカメラ切断	N/A	ⓘ ⓘ
3	▲ 異常検知設定	17-07-2024 08:22:52	IPカメラ切断	N/A	ⓘ ⓘ
4	▲ 異常検知設定	17-07-2024 14:50:10	ネットワーク切断	N/A	ⓘ ⓘ
5	▲ 異常検知設定	17-07-2024 14:52:55	不正なログイン	N/A	ⓘ ⓘ
6	▲ 異常検知設定	17-07-2024 16:05:15	IPカメラ切断	N/A	ⓘ ⓘ

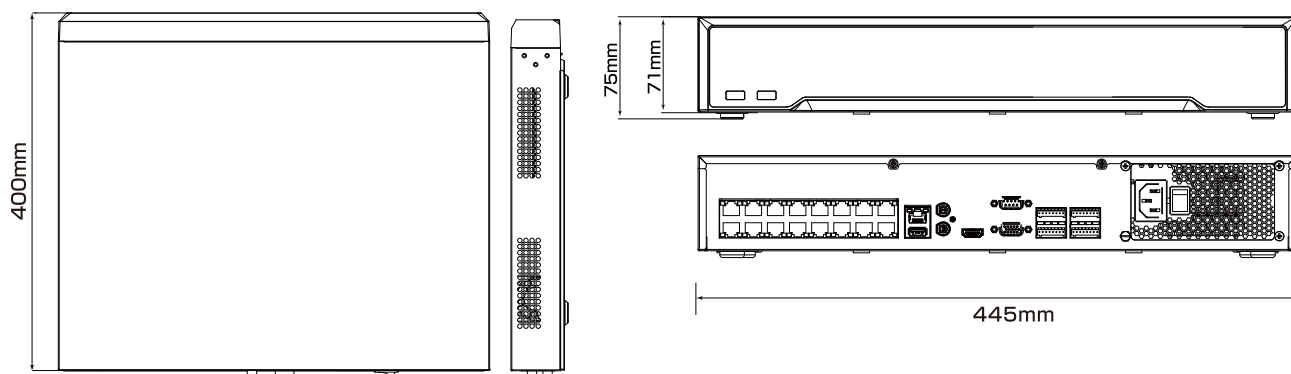
(4) バックアップデバイス (USBメモリ) をつないで、エクスポートを押すとログを取り出すことができます。

This screenshot is identical to the one above, showing the same log management interface. The only difference is that the blue 'エクスポート' (Export) button at the top right is now highlighted with a red rectangular box, indicating the next step in the process.

製品仕様

型番	RD-RN8132 / RD-RN8133 / RD-RN8134 / RD-RN8135
録画解像度	8MP/4MP/3MP/1080p/UXGA/720p/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF
録画記録方式	H.265/H.265+/H.264/H.264+
映像入力	32ch (※PoE給電LANポート16ch)
映像出力	HDMI×1、VGA×1
分割表示	1×1(全画面) / 1+1 / 2×2(4分割) / 3×3(9分割) / 1+5 / 1+7 / 4×4(16分割) / 5×5(25分割) / 6×6(36分割)
音声入力/出力	1入力(RCA) / 1出力(RCA)
内蔵HDD容量	8TB/16TB/32TB/40TB
録画モード	自動録画、手動録画、スケジュール録画、センサー録画、モーション録画
バックアップ方法	USBフラッシュメモリー、ネットワーク
アラーム入力/出力	16入力 / 4出力
アラーム検出	N.C./N.O. 選択可能
モーション/ビデオロス	検知機能あり
上書き機能	あり
対応OS	Windows10・Windows11
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定
モバイル監視	iPhone/iPad/Android
対応アプリ	Guarding Vision
外形寸法	約445 (幅) × 400 (奥行) × 71 (高さ) mm
重量	約5kg (HDD無し)
動作環境温度/湿度	-10度～55度/湿度:10～90%
電源(PoE未使用時) 電源(PoE使用時)	AC100V (付属ケーブル) /約20W 最大220W (PoE合計200Wまで) ※PoE給電は最大16台まで
付属品	取扱説明書、電源アダプター、HDMIケーブル、LANケーブル、USBマウス、ラックマウント金具

■ 外形寸法図(単位:mm)



本製品は下記 URL に掲載されている特許の
1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

故障かな?と思ったら

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。

- ① 電源を入切する。
- ② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントが外れている	確実にコンセントに差し込む ACアダプターの繋ぎめの確認
	ACアダプターの通電不良	レコーダーに接続していない状態でACアダプター単体のランプが点灯しているか確認
モニタに映像が出ない	解像度があっていない	設定にてモニター解像度の変更が可能です。
録画できない	ハードディスクが認識していない	ハードディスクの交換修理が必要です。
モーション録画ができない	設定の一部が間違っている	設定の見直しと、手動録画の解除
	手動録画になっている	
日付と時刻の表示がない	時計、日付表示がOFFになっている	設定の見直しが必要です。
フリーズする	ハードディスクが認識していない	ハードディスクもしくは基盤の交換修理が必要です。
	基盤不良の可能性	
本体から異音がする	ファンもしくはハードディスクの異音	ファンもしくはハードディスクの交換修理が必要です。

アフターサービスについて

この商品は「保証明細書」を別途添付しております。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証明細書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が対応いたします。その他の詳細は保証明細書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本体（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番（32ch ネットワークレコーダー RD-RN8132など）
- ③ お買い上げ年月日（保証明細書に記入）
- ④ 製造番号（シリアルナンバー）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

製品についての
お問い合わせ

ネット業界初！サポート専用ダイヤル

 **0120-366-333**

受付時間 (平日) 9:15 ~ 17:00 (土・日・祝) 休

